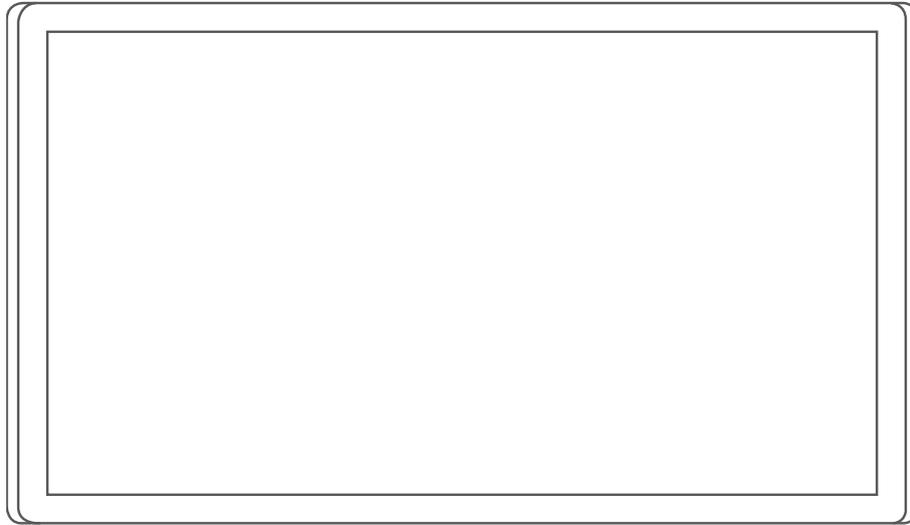


GARMIN®



GARMIN DRIVESMART™ 66/76/86

操作マニュアル

© 2021 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin® および Garmin ロゴは、Garmin Ltd. とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Garmin Drive™、Garmin DriveSmart™、Garmin Express™ および myTrends™ は Garmin Ltd. とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Amazon、Alexa および関連するすべてのロゴおよび動作マークは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。Android™ は Google LLC の商標です。Apple®、iPhone® および Mac® は、米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、Garmin はライセンスに基づきこのワードマークまたはロゴを使用しています。Foursquare® は、Foursquare Labs, Inc. の米国およびその他の国における商標です。HISTORY® および H ロゴは、A+E Television Networks, LLC の商標であり、米国およびその他の国で保護されています。All rights reserved. 許可を得て使用。microSD® および microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。Tripadvisor® は Tripadvisor LLC の登録商標です。Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

目次

はじめに.....	1	赤信号カメラとスピードカメラ.....	17
デバイスの概要.....	1	位置の検索と保存を行う.....	17
車両電源アダプターの概要.....	2	検索バーを使用して位置を検索する... ..	18
取り付けに関する注意事項.....	2	住所を検索する.....	18
車両への Garmin DriveSmart 66/76 デ		場所検索の結果.....	19
バイスの取り付けと電源の供給.....	3	検索エリアを変更する.....	20
車両への Garmin DriveSmart 86 デバ		ジャンル別施設.....	20
イスの取り付けと電源の供給.....	4	カテゴリーを入力して位置を検索す	
スマートフォンとペアリングする.....	5	る.....	20
車両のステレオに接続する.....	6	国立公園を検索する.....	21
Bluetooth 接続でステレオに接続す		HISTORY ジャンル別施設 (POI) を検	
る.....	6	索する.....	21
AUX ケーブルを使用してステレオに		Foursquare.....	22
接続する.....	8	Tripadvisor.....	22
デバイスの電源をオンまたはオフにす		場所内のジャンル別施設にナビゲーシ	
る.....	9	ョンする.....	22
GPS 信号を捕捉する.....	9	検索ツール.....	22
ステータスバーアイコン.....	10	交差点を検索する.....	23
オンスクリーンボタンを使用する.....	10	座標を使用して位置を検索する.....	23
音量を調整する.....	10	ガソリンスタンドとガソリン価格を検	
オーディオミキサーを使用する.....	11	索する.....	23
サウンドと音源を有効または無効にす		駐車場.....	23
る.....	11	現在の場所近くの駐車場を検索す	
画面の輝度を調整する.....	11	る.....	23
音声作動機能.....	12	指定した場所近くの駐車場を検索す	
デバイスに話しかける際のヒント.....	12	る.....	23
Garmin 音声案内ナビゲーションの起		駐車場の色分けと記号について.....	24
動.....	12	最近検索した位置を表示する.....	24
ナビゲーションを開始する.....	12	最近検索した場所のリストを消去す	
音声を使用して電話をかける.....	13	る.....	24
音声を使用してデバイス設定を変更... ..	13	現在地情報を表示する.....	24
AmazonAlexa のスキルと機能.....	14	緊急時サービスとガソリンスタンドを	
天気予報を確認する.....	14	検索する.....	24
スキルを有効にする.....	14	現在地への道順を表示する.....	24
音楽とメディアを再生する.....	14	ショートカットを追加する.....	24
ミュージックプレイヤー.....	15	ショートカットを削除する.....	24
音声でメディア再生を制御する.....	15	位置を保存する.....	25
音楽アカウントを追加する.....	15	位置を保存する.....	25
マイクをミュートにする.....	16	現在地を保存する.....	25
位置を保存する.....		保存した位置を編集する.....	25
位置を保存する.....		保存した位置にカテゴリーを割り当て	
現在地を保存する.....		る.....	25
保存した位置を編集する.....		保存した位置を削除する.....	25
保存した位置にカテゴリーを割り当て		ルートに従う.....	26
る.....		ルート.....	26
保存した位置を削除する.....		ナビゲーションを開始する.....	26
ドライバーへの注意喚起の機能とアラ	16		
ート.....	16		
ドライバーアラートを有効または無効に			
する.....	17		

地図を使用してナビゲーションを開始する	26
帰宅する	26
地図上のルート	27
アクティブ車線案内	28
方向転換と方向指示を表示する	29
地図にルート全体を表示する	29
目的地に到着する	29
目的地の近くの駐車場	29
アクティブルートを変更する	30
ルートに場所を追加する	30
ルートを形成する	30
迂回路を検索する	30
ルート探索方法を変更する	30
ルート上の環境ゾーンを回避する	31
ナビゲーションを停止する	31
推奨ルートを利用する	31
遅延、有料道路、およびエリアを回避する	31
ルート上の交通遅延を回避する	31
有料道路を回避する	31
道路の回避機能	31
環境ゾーンを回避する	31
カスタム回避	32

地図を使用する 32

地図ツール	33
地図ツールを表示する	33
この先	33
この先の場所を表示する	33
[この先]カテゴリーをカスタマイズする	34
次の都市まで	34
この先の都市や出入口サービスの表示	34
トリップ情報	34
地図からトリップデータを表示する	34
トリップ情報ページを表示する	34
軌跡ログを表示する	34
トリップ情報をリセットする	35
進行方向の交通事故を表示する	35
地図上に交通渋滞情報を表示する	35
交通事故情報を検索する	35
地図をカスタマイズする	35
地図レイヤーをカスタマイズする	35
地図データフィールドを変更する	35

地図表示方法を変更する	36
-------------	----

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能 36

アプリの通知を表示または非表示にする (Android™)	36
通知カテゴリを表示または非表示にする (iPhone®)	36
スマート通知	37
通知を受信する	37
通知のリストを表示する	38
ハンズフリー通話	38
電話をかける	38
電話を受ける	38
通話履歴を使用する	38
通話中オプションを使用する	39
自宅の電話番号を保存する	39
Bluetooth デバイスの取り外し	39
ペアリングした電話を削除する	39

[トラフィック] 40

スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する	40
トラフィックを有効にする	40
地図上に交通渋滞情報を表示する	40
交通事故情報を検索する	40

アプリケーションを使用する 40

デバイスのマニュアルの表示	40
天気予報を表示する	41
別の都市周辺の天気を表示する	41
気象観測レーダーを表示する	41
気象警報を表示する	41
道路状況を確認する	41
ルートプランナー	41
ルートを計画する	42
ルートの場所を編集および並べ替える	42
ルートのルートオプションを変更する	42
保存したルートまでナビゲーションする	42
アクティブルートを編集および保存する	43
ワイヤレスカメラ	43
デバイスをワイヤレスカメラにペアリングする	43

ワイヤレスカメラの表示.....	43	吸盤からマウントを取り外す.....	53
前のルートと目的地を表示する.....	44	フロントガラスから吸着カップを取り外す.....	53
設定.....	44	トラブルシューティング.....	54
地図および車両設定.....	44	デバイスから音が聞こえない.....	54
地図を有効にする.....	44	デバイスの画面の輝度を調整できない.....	54
ナビゲーション設定.....	45	Garmin DriveSmart デバイスはいつ聞き取っているのか?.....	55
計算モードの設定.....	45	使用したいスキルがない.....	55
シミュレートされた場所を設定する.....	45	吸盤がフロントガラスに取り付けられない.....	55
環境ゾーン車両プロフィールの追加.....	45	デバイスで衛星信号を受信できない... 55	
ワイヤレスネットワーク設定.....	46	充電しても電池の電力が長持ちしない.....	55
運転者支援の設定.....	46	デバイスがスマートフォンに接続されません.....	55
近接アラート設定.....	46	付録.....	56
バックアップカメラ設定.....	46	地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する.....	56
ディスプレイ設定.....	47	データ管理.....	56
トラフィック設定.....	47	メモリーカードについて.....	56
単位および時間設定.....	47	デバイスをコンピュータに接続する.....	56
時間を設定する.....	47	コンピュータからデータを転送する.....	56
言語およびキーボード設定.....	47	USB ケーブルを取り外す.....	57
デバイスおよびプライバシー設定.....	48	GPS 信号ステータスを表示する.....	57
データと設定をリセットする.....	48	追加の地図を購入する.....	57
デバイス情報.....	48	アクセサリを購入する.....	57
E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示.....	48	欧州排出ガス基準.....	57
仕様.....	49		
デバイスを充電する.....	49		
デバイスのメンテナンス.....	49		
Garmin サポートセンター.....	49		
地図やソフトウェアの更新.....	49		
Wi-Fi ネットワークへの接続.....	50		
Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新.....	50		
Garmin Express による地図とソフトウェアの更新.....	51		
デバイスのお手入れ.....	52		
外側ケースのクリーニング.....	52		
タッチスクリーンのクリーニング... 52			
USB ポートの清掃.....	52		
盗難防止.....	53		
デバイスを再起動する.....	53		
デバイス、マウント、吸着カップを取り外す.....	53		
マウントからデバイスを取り外す... 53			

はじめに

⚠ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全および製品に関する警告と注意事項』ガイドを参照してください。

- デバイスで地図とソフトウェアを更新します (地図やソフトウェアの更新, 49 ページ)。
- デバイスを車両に取り付けて電源に接続します (取り付けに関する注意事項, 2 ページ)。
- GPS 信号 (GPS 信号を捕捉する, 9 ページ) を捕捉します。
- 音量 (音量を調整する, 10 ページ) とディスプレイの輝度 (画面の輝度を調整する, 11 ページ) を調整します。
- 目的地 (ナビゲーションを開始する, 26 ページ) に移動します。

デバイスの概要



音声ボタン。AmazonAlexa 音声機能を有効にする場合に押します。

- ① ヒント： Alexa と発声して AmazonAlexa 音声機能を有効にすることもできます。
2 秒間長押しすると、音声機能のマイクがミュートになります。
注： この機能を利用できない製品モデルもあります。

- ② 音声機能およびハンズフリー通話用マイク。

- ③ 電源ボタン。デバイスをオン / オフする場合に押します。

- ④ USB 電源およびデータポート。

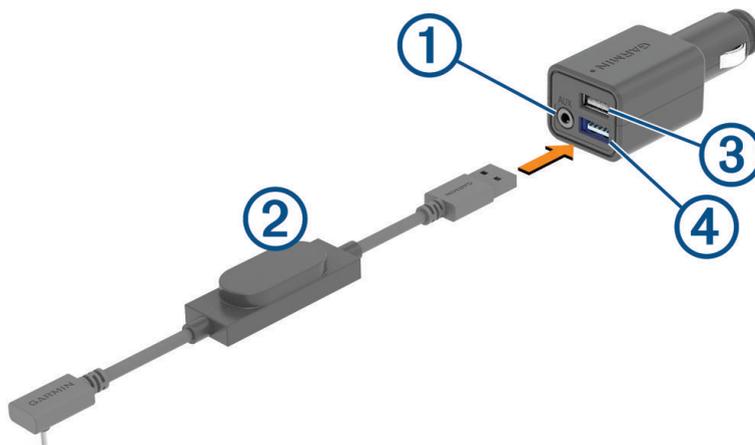
- ⑤ 地図およびデータメモ리카ードスロット。

車両電源アダプターの概要

注記

Garmin DriveSmart 66/76/86 デバイスに付属の車両電源アダプターは、他の Garmin® デバイスと互換性はありません。この車両の電源アダプターを別のデバイスに接続すると、デバイスが損傷する可能性があります。

注：この機能を利用できない製品モデルもあります。



- | | |
|---|--|
| ① | 3.5 mm ステレオオーディオ出力ジャック。3.5 mm オーディオケーブル (別売) を使用して、車両ステレオの補助入力に接続します。オーディオで Bluetooth® テクノロジーが有効になっていない場合にのみ使用します。 |
| ② | 電源ケーブル。ナビゲーションデバイスの背面にある USB 電源ポートに接続します。 |
| ③ | 2.4 A USB 充電ポート。接続されているスマートフォン、ポータブルメディアデバイス、または互換性のあるアクセサリを充電します。 |
| ④ | 2.4 A USB 充電ポート。Garmin DriveSmart デバイスを充電します。 |

取り付けに関する注意事項

- ・ ドライバーが道路を見えにくくなるような場所にはデバイスを取り付けしないでください。

⚠ 警告

取り付け場所がすべての適用法および条例を遵守していること、また車両の安全な操作中に視界を妨げないことを保証する責任はお客様にあります。

- ・ 電源ケーブルを安全に配線できる場所を選択します。

⚠ 警告

デバイスを車両に取り付けるときは、デバイスと電源ケーブルをしっかりと取り付けて、車両の操作制御に干渉しないようにします。車両の操作制御手に干渉すると、衝突が発生して、負傷または死亡につながるおそれがあります。

- ・ デバイスが音声をはっきりと聞き取れる場所を選択します。
デバイスをスピーカーや通気孔の近くに置かないでください。これらはマイクに干渉するノイズを発生する可能性があります。
- ・ 手が届きやすい場所を選択してください。
- ・ マウントを取り付ける前に、フロントガラスを十分に清掃します。

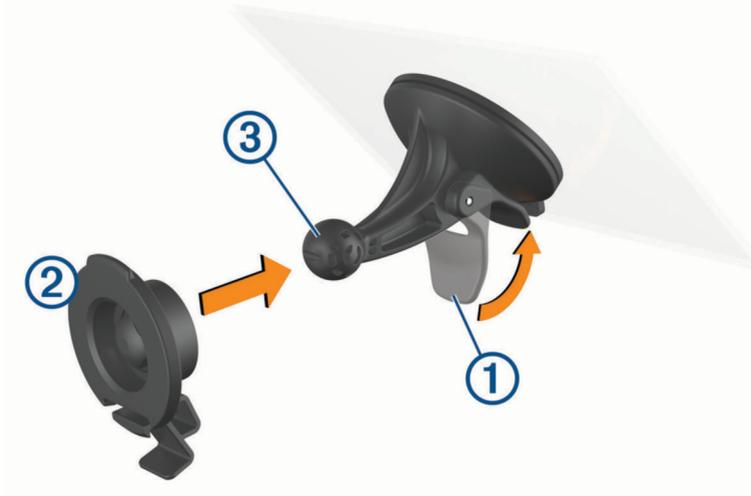
車両への Garmin DriveSmart 66/76 デバイスの取り付けと電源の供給

⚠ 警告

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるため、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

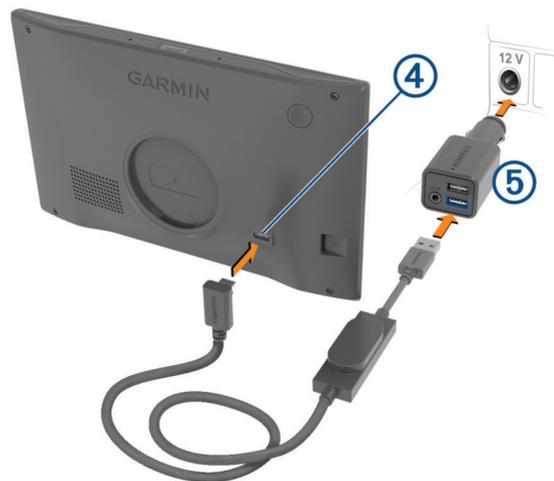
デバイスをバッテリーで使用する前に、バッテリーを充電する必要があります。

1 吸盤をフロントガラスに押し付け、レバー ① をフロントガラスの方に倒します。



2 マウント ② が吸盤ボール ③ にはまるまで押し込みます。

3 車両の電源ケーブルをデバイスの USB 電源およびデータポート ④ に接続します。



4 車両の電源ケーブルのもう一方の端を車両の電源アダプター ⑤ に接続します。

- 5 電源アダプターを車両の電源コンセントに接続します。
- 6 マウントの上部にあるタブをデバイス背面のスロットに合わせ、カチッと音がするまでマウントの下部をデバイスに押し込みます。



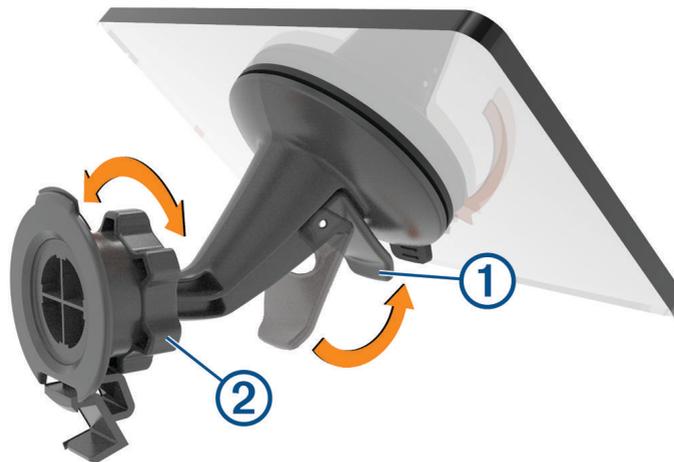
車両への Garmin DriveSmart 86 デバイスの取り付けと電源の供給

⚠ 警告

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるため、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

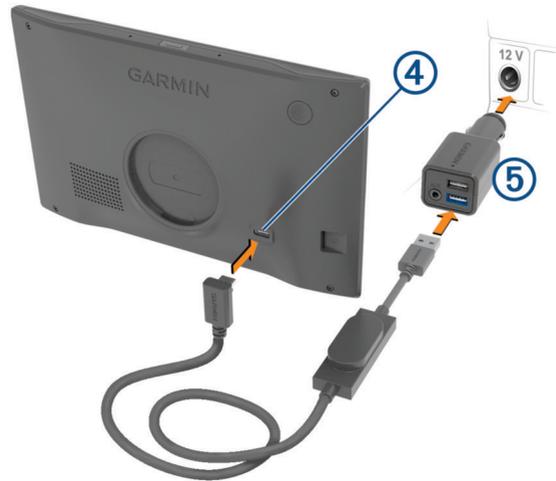
デバイスをバッテリーで使用する前に、バッテリーを充電する必要があります。

- 1 吸盤をフロントガラスに押し付け、レバー①をフロントガラスの方に倒します。



- 2 必要に応じて、ボールマウントのナット②を緩め、見やすく操作しやすいようにマウントを調整します。

3 車両の電源ケーブルをデバイスの USB 電源およびデータポート ④ に接続します。



4 車両の電源ケーブルのもう一方の端を車両の電源アダプター ⑤ に接続します。

5 電源アダプターを車両の電源コンセントに接続します。

6 マウントの上部にあるタブをデバイス背面のスロットに合わせ、カチッと音がするまでマウントの下部をデバイスに押し込みます。



スマートフォンとペアリングする

Garmin DriveSmart デバイスをスマートフォンおよび Garmin Drive™ アプリとペアリングし、追加の機能を有効にし、ライブ情報にアクセスすることができます ([ライブサービス](#)、[トラフィック](#)、および [スマートフォン機能](#)、[36 ページ](#))。Garmin Drive アプリではまた、高度な Garmin 音声操作ナビゲーションと Amazon Alexa のスキルと機能も使用できます。

- 1 スマートフォンのアプリストアから、Garmin Drive アプリをインストールします。
- 2 Garmin DriveSmart デバイスをオンにし、デバイスとスマートフォンの距離が 3 m (10 ft.) 以内になるようにします。
- 3 スマートフォンで Garmin Drive アプリを開きます。
- 4 画面の指示に従って Garmin アカウントにサインインし、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

車両のステレオに接続する

Bluetooth 接続でステレオに接続する

互換性のある車両ステレオがある場合は、ワイヤレス Bluetooth 接続を使用して Garmin DriveSmart デバイスオーディオを車両のステレオに送信できます。これにより、有線接続なしで、ナビゲーションプロンプト、メディア、および通話を車両のスピーカーから高品質オーディオで聞くことができます。

注：ステレオに Bluetooth テクノロジーが搭載されていない場合は、AUX オーディオケーブルを使用してオーディオをステレオに送信できます (AUX ケーブルを使用してステレオに接続する, 8 ページ)。

注：この機能を利用できない製品モデルもあります。

1 次の中からオプションを選択します。

- Garmin Drive アプリの最初のペアリングプロセス中に、現在 Bluetooth テクノロジーを使用してスマートフォンを車両に接続しているか確認された場合は、**はい**を選択します。
- 最初のペアリングプロセスの終了後、Garmin DriveSmart デバイスで、**音量 > Bluetoothオーディオモード**の順に選択し、Bluetooth 接続を使用してステレオに送信するオーディオタイプごとに**車両**が選択されていることを確認します。オーディオタイプが **Garmin デバイス**に設定されている場合は、Garmin DriveSmart デバイスのスピーカーから再生されます。

2 車両のステレオのオーディオソースを Bluetooth 入力に設定します。

注：デフォルトでは、デバイスは Bluetooth メディアモードを使用してオーディオをステレオに送信します。そのため、ステレオを Bluetooth ソースに設定する必要があります。Bluetooth モード設定を変更し、代わりに Bluetooth ハンズフリー通話モードを使用して一部またはすべてのオーディオを送信できます (Bluetooth オーディオモード, 7 ページ)。

Bluetooth オーディオ設定

Bluetooth 接続を使用してデバイスを車両のステレオに接続すると、デバイスで各オーディオタイプを再生する方法を選択できます。オーディオタイプごとに、Bluetooth 接続を介してステレオからそのオーディオタイプを再生する場合は**車両**を選択するか、デバイスのスピーカーまたは補助出力ケーブルからそのオーディオタイプを再生する場合は **Garmin デバイス**を選択できます。

音量 > Bluetoothオーディオモード の順に選択します。

ガイド: 車両とステレオに最適な Bluetooth オーディオ設定を選択するのに役立つ画面の指示を表示します。

ナビゲーションと OK Garmin: 次の方向転換地点や車線案内など、ナビゲーション音声プロンプトの再生方法を選択できます。

Alexa とメディア: Amazon Alexa の応答、音楽、オーディオブックなどのメディアの再生方法を選択できます。

通話: 通話音声の再生方法を選択できます。

Bluetoothオーディオモード: オーディオを車両のステレオに送信するのに使用する Bluetooth モードを選択できます。

Bluetooth オーディオモード

お使いのデバイスでは、2つの Bluetooth モードを使用して、ナビゲーションプロンプト、Alexa 応答、音楽などのオーディオをステレオに送信できます。

注： 通話は常に Bluetooth ハンズフリー通話モードを使用してステレオに送信されます。

音量 > Bluetoothオーディオ出力 > Bluetoothオーディオ出力 の順に選択します。

メディアとして再生: A2DP オーディオプロトコルを使用して Bluetooth メディアモードでオーディオを送信するようにデバイスを設定します。ほとんどの車両では、このオプションが最高の音質を提供します。

Bluetooth メディアモードで送信されたオーディオを聞くには、ステレオを Bluetooth 入力ソースに設定する必要があります。

通話として再生: オーディオを Bluetooth ハンズフリー通話として送信するようにデバイスを設定します。このオプションでは、ステレオの Bluetooth ハンズフリー通話機能を使用してオーディオを再生します。これにより、ラジオなどの他のオーディオソースにリストしているときでも、ステレオでナビゲーションプロンプトと Amazon 応答を聞くことができます。また、Bluetooth メディア入力ソースがない車両ステレオや、Bluetooth メディア入力によって音質が低下する場合にも便利です。このモードを使用すると、デバイスからのすべての Bluetooth オーディオがステレオ上のすべてのソースに割り込むため、ほとんどのステレオでは、Bluetooth ハンズフリー通話がアクティブな間は別のソースに切り替えることができません。オーディオアイテムの再生が終了すると、デバイスは Bluetooth ハンズフリー通話信号の送信を自動的に停止し、ステレオは以前アクティブだったオーディオソースに戻ります。

互換性モード

注： このオプションが使用できるのは、ナビゲーションデバイスが Apple®デバイスとペアリングされている場合だけです。

Bluetooth メディアと Bluetooth ハンズフリー通話信号の組み合わせを使用してオーディオを送信するようにデバイスを設定します。音楽、オーディオブック、その他のメディアは、A2DP オーディオプロトコルを使用して Bluetooth メディアモードでステレオに送信されます。ナビゲーションプロンプトと Amazon Alexa 応答は、Bluetooth ハンズフリー通話としてステレオに送信されます。このモードを使用すると、ナビゲーションプロンプトと Amazon Alexa 応答によって、ステレオ上のすべてのオーディオソースが中断されます。ただし、デバイスからのメディア再生を聞くには、ステレオの Bluetooth 入力ソースを選択する必要があります。このモードが便利なのは、デバイスメディアと他のメディアソースを切り替えても、ナビゲーションプロンプトと Amazon Alexa 応答は必ず聞きたい場合です。

AUX ケーブルを使用してステレオに接続する

Garmin DriveSmart デバイスが Bluetooth 接続で車載オーディオに接続されていない場合は、3.5 mm ステレオ AUX オーディオケーブルを使用して、デバイスのオーディオを車両のステレオに送信できます。

注：この機能を利用できない製品モデルもあります。

- 1 オーディオケーブルの一方の端を Garmin DriveSmart 車両の電源アダプターの 3.5 mm オーディオ出力ジャックに接続します。



- 2 オーディオケーブルのもう一方の端を車両ステレオの AUX 入力ジャックに接続します。
このジャックには、AUX または LINE IN というラベルが付いている場合があります。詳細については、車両の操作マニュアルを参照してください。
- 3 デバイスの電源ケーブルを、車両の電源アダプターの青い USB ポートに接続します。
- 4 車載オーディオのオーディオソースを AUX IN に設定します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - Garmin Drive アプリの最初のペアリングプロセス中に、現在 Bluetooth テクノロジーを使用してスマートフォンを車両に接続しているか確認された場合は、**いいえ**を選択します。
 - 最初のペアリングプロセスの終了後、Garmin DriveSmart デバイスで、**音量 > Bluetoothオーディオセットアップ** の順に選択し、オーディオタイプごとに **Garmin デバイス**が選択されていることを確認します。

デバイスの電源をオンまたはオフにする

- デバイスの電源をオンにするには、電源キー ① を押すか、デバイスを電源に接続します。



- デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源キーを押します。省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。
ヒント：バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。
- デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源キーを押し続け、**オフ**を選択します。
5秒後にメッセージが表示されます。メッセージが表示される前に電源キーを離すと、デバイスは省電力モードに移行します。

GPS 信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからのどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- 1 デバイスの電源をオンにします。
- 2 デバイスが衛星の位置を受信するまで待ちます。
- 3 必要に応じて、高層ビルや樹木から離れた、上空の開けた場所に移動します。

ステータスバーの  は衛星信号の強度を表しています。バーが少なくとも半分あれば、ナビゲーションする準備ができます。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。アイコンを選択すると、設定変更や詳細情報の表示ができます。

	GPS 信号ステータス GPS の精度と受信した衛星情報を表示し続けます (GPS 信号ステータスを表示する, 57 ページ)。
	Bluetooth テクノロジーのステータス Bluetooth の設定を表示するときに選択します (ワイヤレスネットワーク設定, 46 ページ)。
	Wi-fi 信号強度 Wi-fi 設定を変更するときに選択します (ワイヤレスネットワーク設定, 46 ページ)。
	ハンズフリー通話に接続済み 電話をかけるときに選択します (ハンズフリー通話, 38 ページ)。
9:10	現在の時刻 時刻を設定するときに選択します (時間を設定する, 47 ページ)。
	バッテリー充電レベル
	Garmin Drive アプリの接続ステータス (スマートフォンとペアリングする, 5 ページ)。
53°C	温度 天気予報を表示するときに選択します (天気予報を表示する, 41 ページ)。

オンスクリーンボタンを使用する

オンスクリーンボタンを使用して、デバイス上のページ、メニュー、メニューオプションを操作できます。

- ・ **◀** を選択すると、前のメニュー画面に戻ります。
- ・ **◀** を押し続けるとすばやくメインメニューに戻ることができます。
- ・ **▲** または **▼** を選択すると、リストやメニューをスクロールします。
- ・ **▲** または **▼** を押し続けるとスクロール速度が速くなります。
- ・ **☰** を選択すると、現在の画面に対応するオプションのコンテキストベースのメニューが表示されます。

音量を調整する

1 音量を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ デバイスがスマートフォンに接続されていない場合は、**マスター音量スライダー**を使用してデバイスの音量を調整します。
- ・ デバイスがスマートフォンに接続されている場合は、2つのスライダーを使用して、さまざまなオーディオタイプごとに音量を調整します。
各スライダーの上のタイトルは、スライダーの影響を受けるオーディオタイプを示しています。これらのタイトルは、オーディオ設定 ([Bluetooth オーディオ設定, 6 ページ](#))によって変わります。
- ・ デバイスをミュートするには、音量スライダーを0に設定します。
- ・ 異なる音源の相対音量を調整するには、**オーディオミキサー**を選択します。

オーディオミキサーを使用する

オーディオミキサーを使用すると、ナビゲーションプロンプト、音声操作機能の応答、アラートなど、さまざまな音源の相対音量レベルを設定できます。各タイプの音のレベルは、マスター音量に対するパーセンテージとなります。

1 音量 > オーディオミキサーを選択します。

2 スライダーバーを使用して、各音源の相対音量を調整します。

例えば、スライダーバーを右端に設定すると、その音源はマスター音量レベルで再生されます。スライダーバーを中央位置に設定すると、マスター音量レベルの半分で再生されます。

サウンドと音源を有効または無効にする

他の音源に影響を与えずに、特定の音源とシステムサウンドのオン / オフを切り替えることができます。

1 音量を選択します。

2 音/バイブセクションで、次のオプションを選択します。

- デバイスがナビゲーションプロンプトと方向を読み上げるようにするには、**音声ナビゲーションチェックボックス**をオンにします。
- デバイスが交通アラートとプロンプトを読み上げるようにするには、**音声交通アラートチェックボックス**をオンにします。
- ドライバーへの注意喚起アラートがトリガされたときにデバイスが通知音を再生するようにするには、**アラートとトーンチェックボックス**をオンにします。
- オンスクリーンボタンをタッチしたときにデバイスがサウンドを再生するようにするには、**ボタンを押すチェックボックス**をオンにします。
- デバイスが音声リクエストの聞き取りを開始するときに通知音を再生するようにするには、**リクエストの開始音チェックボックス**をオンにします。
音声ボタンを押すか、OK, Garmin または Alexa と発声すると、デバイスがリクエストを聞き取っていることを示す通知音が再生されます。
- デバイスが音声リクエストの聞き取りを停止するときに通知音を再生するようにするには、**リクエストの終了音チェックボックス**をオンにします。
発話を止めたことが検出されると、デバイスは通知音を再生し、音声リクエストの処理を開始します。

画面の輝度を調整する

1 設定 > ディスプレイ > 輝度の順に選択します。

2 スライダーバーを使用して、輝度を調整します。

音声作動機能

⚠ 警告

この機能を使用する際は、運転に集中し、使用しても安全な場合にのみこの機能を使用してください。Alexa 機能を使用したりライブサービスにアクセスするには、互換性のあるスマートフォンで Garmin Drive アプリを開いて実行している必要があります。

AmazonAlexa 機能を使用するには、Garmin Drive アプリから Amazon アカウントにサインインする必要があります。

Garmin DriveSmart デバイスでは自然言語処理を使用して、口頭でのリクエストの意図を理解します。完全なセンテンスを使用して、自然言語で質問したり、コマンドを発声できます。マニュアルには多くのフレーズ例が記載されていますが、最も使いやすい言語でデバイスに話しかけて試すことができます。

このデバイスには、Garmin 音声案内ナビゲーション、Amazon Alexa のスキルと機能が含まれています。

Garmin 音声案内ナビゲーションを使用すると、場所や住所を検索したり、進路変更指示によるルートを開始したり、ハンズフリー通話を発信できます。Garmin 音声案内ナビゲーションを起動するには、OK, Garmin に続いてリクエストを発声します。

Alexa ビルトインを使用すると、音楽の再生、オーディオブックの聴取、ニュースの聴取などが可能で、ハンドルから手を離さず、道路から目を離さずに操作できます。

注：この機能を利用できない製品モデルまたは言語があります。

デバイスに話しかける際のヒント

- デバイスで指定されるはっきりした音声で発音します。
- 次のオプションをいずれかを使用して、各リクエストを開始します。
 - OK, Garmin と発声します。
 - Alexa と発声します。
 - 音声ボタンを押します。
- 音声やラジオなどの背景雑音を軽減して、デバイスがコマンドをより正確に解釈できるようにします。
- 有益な応答が得られない場合は、リクエストを言い換えてみてください。
- デバイスがリクエストに応答しない場合は、次のオプションを1つ以上試してください。
 - デバイスがスピーカーや通気口の近くに置かれていないか確認します。これらはマイクに干渉するノイズを発生する可能性があります。
 - マイクがミュートになっていないことを確認します ([マイクをミュートにする, 16 ページ](#))。

Garmin 音声案内ナビゲーションの起動

Garmin 音声案内ナビゲーションを使用すると、わかりやすい言語の音声要求を使用して、場所や住所を検索したり、針路方向を詳細に指示したり、ハンズフリー通話を発信したりできます。

- OK, Garmin と話しかけ、音声で要求します。

たとえば、次のようなフレーズを言うことができます。

 - OK, Garmin, take me home.
 - OK, Garmin, where's the library?

ナビゲーションを開始する

保存した場所に音声で移動

保存した場所に移動するときは、Garmin DriveSmart デバイスでルートを開始すると便利ですが、すでに行き方がわかっている場合もあります。デバイスを使用すると、ルートに影響を与える可能性のある交通渋滞や工事を回避できます。

次のようなフレーズを発声すると、保存した場所へのルートを開始できます ([位置を保存する, 25 ページ](#))。

- OK, Garmin, take me home.
- OK, Garmin, take me to work.
- OK, Garmin, start a route to school.

音声を使用して住所へ移動する

以下のようなフレーズを発声すると、近くの住所や特定の都市の住所へのルートを開始できます。

- *OK, Garmin, take me to One Garmin Way.*
- *OK, Garmin, start a route to twelve hundred East 151st Street in Olathe, Kansas.*

音声を使用して会社または名前付きの場所に移動する

以下のようなフレーズを発声すると、名前またはカテゴリで会社または場所を検索してナビゲートできます。

近くの場所

- *OK, Garmin, find a coffee shop.*
- *OK, Garmin, where's the library?*
- *OK, Garmin, take me to Starbucks.*

別の都市に近い場所

- *OK, Garmin, find Mexican food near Denver, Colorado.*
- *OK, Garmin, find The Field Museum near Chicago, Illinois.*
- *OK, Garmin, find Casa Bonita near Denver, Colorado.*

交差点の近くの場所

- *OK, Garmin, find barbecue near 12th Street and Vine Street.*
- *OK, Garmin, find Arthur Bryant's Barbecue near 12th Street and Vine Street.*

音声で都市または交差点に移動

以下のようなフレーズを発声すると、都市や交差点を検索して移動できます。

- *OK, Garmin, find Chandler, Arizona.*
- *OK, Garmin, find Michigan Avenue and Erie Street.*

到着時刻の確認

ルートがアクティブな間に、フレーズを発音すると目的地への到着予定時刻を確認できます。

*OK, Garmin, what time will we arrive?*と話しかけます。

音声を使用してルートを停止する

次のようなフレーズを発声すると、ルートのナビゲーションを停止できます。

- *OK, Garmin, stop the route.*
- *OK, Garmin, stop navigating.*

音声を使用して電話をかける

音声コマンドを使用して、ペアリングしたスマートフォンの電話帳から連絡先に電話をかけることができます。

OK, Garmin, call と話しかけて、連絡先名を言ってください。

例えば、*OK, Garmin, call Mom.*と言います。

音声を使用してデバイス設定を変更

次のようなフレーズを発音して、音量を 0~10 の値に設定できます。

- *OK, Garmin, increase the volume.*
- *OK, Garmin, set the volume to 0.*
- *OK, Garmin, set the volume to 9.*
- *OK, Garmin, decrease the brightness.*
- *OK, Garmin, set the brightness to 5.*

AmazonAlexa のスキルと機能

Garmin DriveSmart デバイスでは、Garmin 音声案内ナビゲーションの提供するナビゲーション機能に加えて、音楽の再生、天気の確認、ニュースの聴取など、AmazonAlexa の多くの機能にアクセスできます。また、AmazonAlexa アプリを使用して、機能をカスタマイズしたり、ストリーミング音楽アカウントを追加したり、Alexa スキルストアで何千ものスキルを探索することもできます。スキルを追加するには、Amazon アカウントにリンクする必要があります。

注：一部の AmazonAlexa スキルは、Garmin DriveSmart デバイスと互換性がない場合もあります。スキルの互換性は、スキル開発者と Amazon によって決定されます。

注：その機能を利用できない製品モデルもあります。

天気予報を確認する

以下のようなフレーズを発声すると、近くや別の地域の天気予報を確認できます。デバイスがリクエストされた天気情報を読み上げ、天気情報が画面に表示されます。

今日の天気

- *Alexa, how's the weather?*
- *Alexa, what's the temperature today?*

今後の天気

- *Alexa, will it rain tomorrow?*
- *Alexa, what's the weather this weekend?*

別の場所の天気

- *Alexa, what's the weather in Atlanta?*
- *Alexa, will it snow in Chicago this weekend?*

スキルを有効にする

追加のスキルを有効にするには、Garmin DriveSmart デバイスに話しかけるか、Amazon Alexa アプリを使用します。

- 音声を使用してスキルを有効にするには、*Alexa, enable the Pandora skill.* のようなフレーズを発声します。
- AmazonAlexa アプリからスキルを参照して有効にするには、AmazonAlexa アプリメニューから **Alexa Skills** を選択します。

音楽とメディアを再生する

音声コマンドを使用して、Amazon Music アカウントやその他の互換性のある Alexa スキルやサービスから音楽、ポッドキャスト、オーディオブックをストリーミングできます。Alexa アプリを使用して、ストリーミング音楽アカウントを接続できます。スマートフォンの別のアプリを使用して、メディアの再生を手動で開始することもできます。この場合、デバイスは Bluetooth メディア接続を使用して再生を制御します。

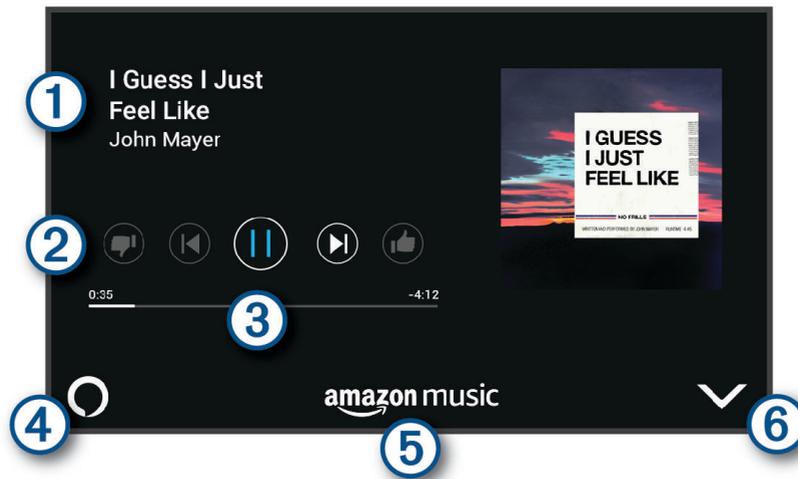
ジャンル、アーティスト、タイトル、アルバム、最近のリリースなどに基づいて音楽を再生するには、次のようなフレーズを発声します。

- *Alexa, play music.*
- *Alexa, play some popular new rock music.*
- *Alexa, play my driving music station on Pandora.*

ミュージックプレイヤー

メディアプレイヤーを使用すると、Alexa 音声コマンドを使用したり、スマートフォンで別のメディアアプリを使用して再生を開始した場合でも、現在スマートフォンで再生しているメディアを管理できます。メディアプレイヤーは、メインメニューからメディアを選択していつでも開くことができます。

注：その機能を利用できない製品モデルもあります。



- | | |
|---|---|
| ① | タイトル、アーティスト、アルバム、ステーション、チャンネルなどの現在再生中のメディアの情報。 |
| ② | 再生コントロール。コントロールは、メディアを提供するサービスに基づいて変わります。 |
| ③ | 現在のメディアアイテムを処理します。 |
| ④ | 音源。○は、メディアが Alexa スキルから再生されていることを示しています。✱は、メディアがスマートフォンの別のメディアアプリによって再生され、Bluetooth メディア接続を使用してデバイスに送信されていることを示します。 |
| ⑤ | メディアサービス。メディアをストリーミングしているサービスまたはプロバイダーを示します。 |
| ⑥ | メディアプレイヤーを非表示または縮小します。 |

音声でメディア再生を制御する

Alexa 音声コマンドを使用してメディアの再生を開始した場合は、次のようなフレーズを発声し、音声を使用して再生を制御できます。

- 再生を停止するには、*Alexa, stop* と発声します。
- 再生を再開するには、*Alexa, resume* と発声します。
- 次の曲またはトラックにスキップするには、*Alexa, next song* または *Alexa, next track* と発声します。
- 現在再生中の曲に関する情報を取得するには、*Alexa, what song is this?* と発声します。

音楽アカウントを追加する

Amazon Alexa アプリを使用して、Garmin DriveSmart を Amazon Music サービスや Pandora® インターネットラジオなどのストリーミング音楽サービスアカウントに接続できます。すべてのストリーミング音楽サービスが Garmin DriveSmart デバイスと互換性があるわけではありません。

ストリーミング音楽サービスアカウントの追加の詳細については、AmazonWeb サイトで Amazon Alexa アプリの操作マニュアルを参照してください。

マイクをミュートにする

注：この機能を利用できない製品モデルもあります。

- ・ マイクをミュートにするには、音声ボタン ① を 2 秒間押し続けます。



マイクがミュートになっている間は、画面の下部に赤いバーが表示されます。

- ・ マイクのミュートを解除するには、音声ボタンを押します。

ドライバーへの注意喚起の機能とアラート

△ 注意

ドライバーアラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受ける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも、より安全な運転や効率の向上に役立つ機能を備えています。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。一部の運転者アラートについて通知音をオン / オフできます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

学校: デバイスが通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンに関する制限速度 (ある場合) を表示します。

制限速度超過: 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは速度制限アイコンに赤枠を表示します。

制限速度低下: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度を表示するため、速度を調節する準備ができます。

一方通行を逆走しています: 一方通行を逆走している場合、デバイスはメッセージを再生し、全画面の警告を表示します。一方通行路を離れるか走行方向を正しくするまで、画面の縁が赤色で表示され、アラートが画面上部に表示されたままになります。

踏切: デバイスには、次の踏切までの距離が表示されます。

動物出没: デバイスが通知音を再生し、この先の動物出没エリアを示します。

カーブ: デバイスが通知音を再生し、道路のカーブを示します。

渋滞: 渋滞に速い速度で近づくと、デバイスが通知音を再生し、渋滞が発生していることを示します。この機能を使用するには、デバイスでトラフィック情報を受信している必要があります ([トラフィック](#) , 40 ページ)。

工事ゾーン: 工事ゾーンに接近すると、デバイスが通知音を再生してメッセージを表示します。

車線閉鎖: 車線閉鎖に接近すると、デバイスが通知音を再生してメッセージを表示します。

休憩の計画: 長時間運転し続けていると、デバイスが通知音を再生し、この先の休憩場所を提案します。

ドライバーアラートを有効または無効にする

数種類のドライバーアラートを有効または無効にすることができます。

- 1 設定 > 安全運転支援 > ドライバーアラートの順に選択します。
- 2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注記

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注：この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づくと、アラートされます。

- 一部の地域では、Garmin Drive アプリを実行しているスマートフォンをデバイスに接続すると、ライブの赤信号データとスピードカメラのデータを受信できます。
- Garmin Express™ ソフトウェア (garmin.com/express) を使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。目的地検索メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

メインメニューで目的地検索を選択します。

- デバイス上のすべての場所をすばやく検索するには、**Q 検索**を選択します ([検索バーを使用して位置を検索する, 18 ページ](#))。
- 住所を検索するには、**住所**を選択します ([住所を検索する, 18 ページ](#))。
- カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索するには、**カテゴリー**を選択します ([カテゴリーを入力して位置を検索する, 20 ページ](#))。
- 別の都市や地域の周辺を検索するには、現在の検索エリアの横にある📍を選択します ([検索エリアを変更する, 20 ページ](#))。
- 保存済み位置情報を表示および編集するには、**保存済み**を選択します ([位置を保存する, 25 ページ](#))。
- 検索結果から最近選択した場所を表示するには、**最近表示した項目** ([最近検索した位置を表示する, 24 ページ](#))を選択します。
- Foursquare®のジャンル別施設を参照および検索するには、**Foursquare®** ([Foursquare のジャンル別施設を検索する, 22 ページ](#))。
- TripAdvisor®トラベラー評価を参照および検索するには、**Tripadvisor** を選択します ([Tripadvisor, 22 ページ](#))。
- HISTORY®のジャンル別施設、写真、情報を参照および検索するには、**History®** ([HISTORY ジャンル別施設 \(POI\) を検索する, 21 ページ](#))。
- 国立公園を検索して、公園地図を参照するには、**国立公園** ([国立公園を検索する, 21 ページ](#))。
- 特定の地理座標に移動するには、**座標**を選択します ([座標を使用して位置を検索する, 23 ページ](#))。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリ、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 検索バーで **検索** を選択します。
- 3 検索語の全体または一部を入力します。
検索語の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリ名を入力します。
 - ・ 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
 - ・ 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - ・ 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - ・ 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
 - ・ 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
 - ・ 入力したテキストを使用して検索するには、**Q** を選択します。
- 6 必要に応じて、位置を選択します。

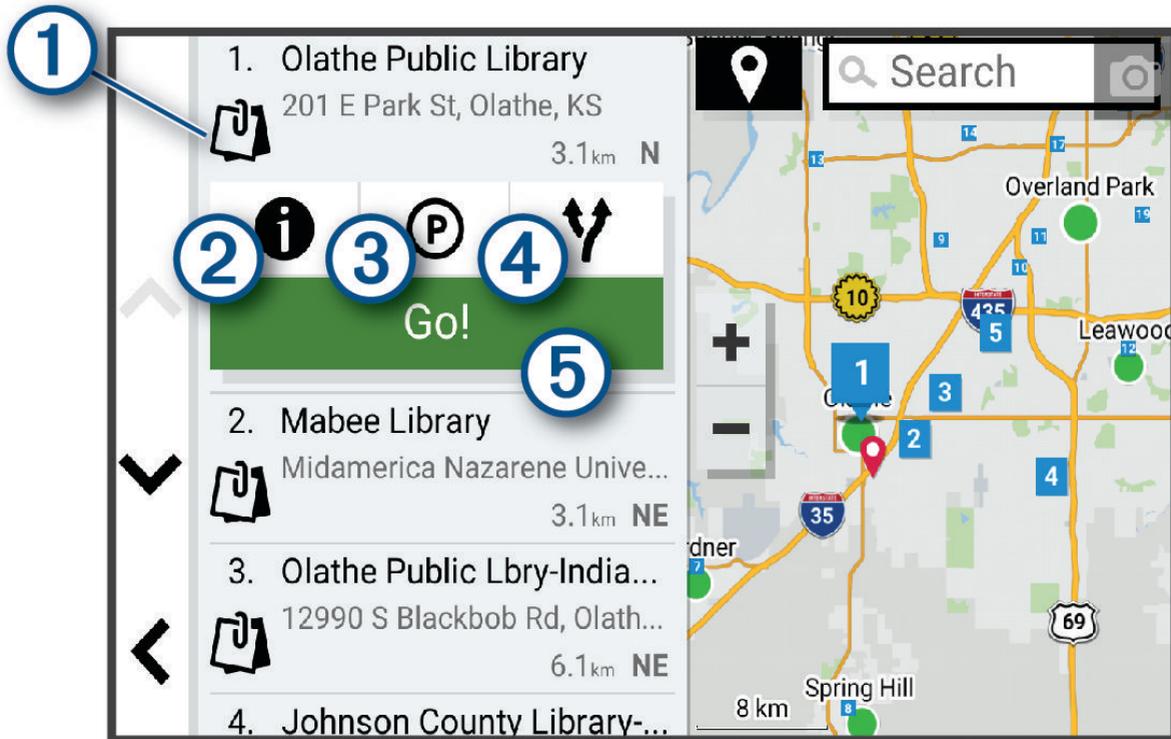
住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 必要に応じて、**📍** を選択して、別の都市または地域の周辺を検索します。
- 3 住所を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

場所検索の結果

場所検索の結果はリストに表示され、最も近い場所が一番上に表示されます。番号付きの各場所はマップ上にも表示されます。下にスクロールしてより多くの結果を表示できます。

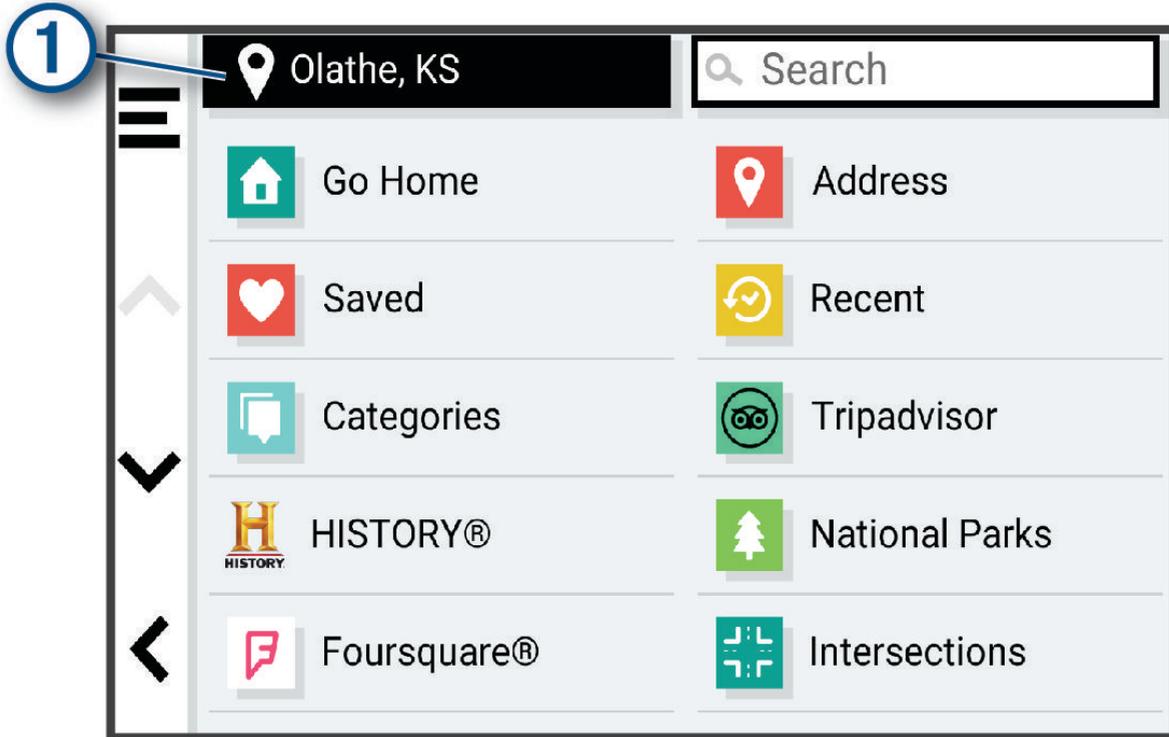


- | | |
|--------------|-----------------------------------|
| ① | 場所を選択してオプションメニューを表示します。 |
| ② i | 選択すると、場所に関する詳細情報が表示されます。 |
| ③ P | 選択して、場所の近くの駐車場を検索します。 |
| ④ Y | 選択すると、場所への代替ルートが表示されます。 |
| ⑤ Go! | 選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。 |

検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 現在の検索エリア ① の横にある📍を選択します。



- 3 検索エリアを選択します。
 - 4 必要に応じて、画面の指示に従って、特定の場所を選択します。
- 選択した検索エリアが📍の横に表示されます。目的地検索メニューのオプションを使用して場所を検索すると、そのエリアの近くにある場所が提案されます。

ジャンル別施設

注記

ユーザーはジャンル別施設に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリー別に分類されガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

カテゴリーを入力して位置を検索する

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 カテゴリーを選択するか、またはカテゴリーを選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 4 位置を選択します。

カテゴリー内を検索する

ジャンル別施設の検索後、ある特定のカテゴリーに、最後に選択した目的地からさかのぼって4か所を含むクイックサーチリストが表示される場合があります。

- 1 目的地検索 > カテゴリーの順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 画面右側のクイックサーチリストから、目的地を選択します。
クイックサーチリストには、選択したカテゴリーで最近検索した場所のリストが表示されます。
 - 必要に応じてサブカテゴリーを選択し、目的地を選択します。

国立公園を検索する

北米または米国の地図が付属するデバイスモデルには、米国の国立公園の詳細情報も含まれています。国立公園または国立公園内の場所へのナビゲーションすることができます。

注記

ユーザーは国立公園に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

- 1 目的地検索 > 国立公園の順に選択します。
国立公園が、現在地から近い順に一覧で表示されます。
- 2 検索を選択して、公園名のすべてまたは一部を入力して、結果を絞り込みます (オプション)。
- 3 国立公園を選択します。
公園内の機能や施設のカテゴリーリストが公園名の下に表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - 公園までのナビゲーションを開始するには、Go!を選択します。
 - 公園の詳細情報、機能、施設を確認するには、**i**を選択します。
 - 公園内の場所をすばやく検索するには、公園名の下からリストからカテゴリーを選択して、場所を選択します。

国立公園の機能と施設を探索する

北米の製品モデルでは、国立公園内で利用できる主要な場所や設備に関する詳細情報を調べたり、公園内の特定の場所に移動できます。例えば、キャンプ場、ランドマーク、ビジターセンター、人気のアトラクションなどを検索できます。

- 1 場所検索の結果から、国立公園を選択します。
公園の機能と施設のカテゴリーが一覧で表示されます。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 場所を選択し、Go!を選択します。

HISTORY ジャンル別施設 (POI) を検索する

注：この機能は、すべての製品モデルおよびすべての地域で利用できるわけではありません。

注記

ユーザーはキャンプ場やジャンル別施設に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

このデバイスには HISTORY ジャンル別施設が登録されています。これにより、歴史的建造物、文化財、博物館、歴史的に重要な事件が起こった場所などを検索して、詳細を見ることができます。

- 1 目的地検索 > History®の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 **H**を選択すると、その場所の写真と歴史の概要が表示されます。

Foursquare

注記

Garmin は、Foursquare によって提供される情報の正確性または適時性について責任を負いません。

ユーザーはジャンル別施設 (POI) に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスには Foursquare の数百万のジャンル別施設が事前にダウンロードされており、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

Foursquare のジャンル別施設を検索する

デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。

目的地検索 > Foursquare® の順に選択します。

Foursquare の場所の詳細を表示する

Foursquare 位置情報とユーザー評価を表示できます。

- 1 場所についての検索の結果から Foursquare のジャンル別施設を選択します。
- 2 ⓘ を選択します。

Tripadvisor

デバイスには Tripadvisor ジャンル別施設および評価が登録されています。Tripadvisor 評価は、自動的に該当するジャンル別施設リストの検索結果に表示されます。近くの Tripadvisor ジャンル別施設を検索して、距離または人気度に基づき並べ替えることもできます。

Tripadvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する

- 1 目的地検索 > Tripadvisor を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
そのカテゴリーに該当する、近くの Tripadvisor ジャンル別施設のリストが表示されます。
- 4 表示された関心スポットを距離または人気度でフィルタリングするには、結果を並べ替えるを選択します(オプション)。
- 5 🔍 を選択し、検索項目を入力します (オプション)。

場所内のジャンル別施設にナビゲーションする

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

ショッピングモール内のストアまたは空港の特定のターミナルなど、大規模な場所の中にあるジャンル別施設 (POI) へのルートを作成できます。

- 1 目的地検索 > 検索の順に選択します。
- 2 場所の名前を入力し、🔍 を選択します。
- 3 場所を選択します。
場所内にある POI のカテゴリリストが表示されます。
- 4 カテゴリ、場所を選択し、Go! を選択します。

デバイスは、POI の周辺の駐車場または場所までのルートを作成します。目的地に到着すると、推奨の駐車場がチェッカーフラッグで示されます。ラベルの付いたポイントは、場所内にある POI の位置を示します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

交差点を検索する

2本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

- 1 目的地検索 > 交差点の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。
- 3 交差点を選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。

- 1 目的地検索 > 座標の順に選択します。
- 2 必要に応じて  を選択し、座標形式やデータを変更します。
- 3 緯度 / 経度を入力します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - 座標を場所として保存するには、保存を選択します。
 - その座標までのルートを開始するには、Go!を選択します。

ガソリンスタンドとガソリン価格を検索する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリを実行しているサポート対象のスマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります (スマートフォンとペアリングする, 5 ページ)。

近くのガソリンスタンドを検索してガソリン価格を比較できます。

- 1 目的地検索 > ガソリン価格の順番に選択します。
- 2 必要に応じて、 > 燃料タイプの順に選択して、保存を選択します。
- 3 ガソリンスタンドを選択します。

駐車場

Garmin DriveSmart デバイスは詳細な駐車場データを含んでいます。これは、駐車場の利用可能性、駐車場のタイプ、料金、または認められている支払い方法に基づいて近くの駐車場を検索するのに役立ちます。

注：詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。

現在の場所近くの駐車場を検索する

- 1 目的地検索 > 駐車場の順に選択します。
- 2 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の1つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します (オプション)。

注：詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。
- 3 駐車場を選択します。
- 4 Go!を選択します。

指定した場所近くの駐車場を検索する

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 位置情報を検索します。
- 3 位置検索結果から位置を選択します。
- 4  を選択します。

選択した場所の近くにある駐車場のリストが表示されます。
- 5 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の1つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します (オプション)。

注：詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。
- 6 駐車場を選択します。
- 7 Go!を選択します。

駐車場の色分けと記号について

詳細なパーキングデータがある駐車場所では、駐車スポットが見つかる可能性が色で表示されます。記号は駐車場のタイプ（路上またはパーキングロット）、関連する料金情報、および支払タイプを示します。

これらの色と記号の凡例はデバイスで表示できます。

パーキング検索の結果から、**i** を選択します。

最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

目的地検索 > 最近表示した項目の順に選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

目的地検索 > 最近表示した項目 >  > 消去 > はいの順に選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

1 地図で、車両を選択します。

2 病院、警察署、トラックストップ、またはガソリンスタンドを選択します。

注：サービスカテゴリーの中には、すべてのエリアでは提供されていないものもあります。

選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。

3 位置を選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

・ その場所までのナビゲーションを開始するには、Go!を選択します。

・ 電話番号や場所に関するその他の詳細を表示するには、**i**を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

1 地図で、車両を選択します。

2  > 現在地までの道順の順に選択します。

3 始点を選択します。

4 選択を選択します。

ショートカットを追加する

[目的地検索] メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリー、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索] メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

1 目的地検索 > ショートカットの追加の順に選択します。

2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

1 目的地検索 >  > ショートカットの削除の順に選択します。

2 削除するショートカットを選択します。

3 確認のため再度ショートカットを選択します。

4 完了を選択します。

位置を保存する

位置を保存する

- 1 位置を検索します (カテゴリーを入力して位置を検索する, 20 ページ)。
- 2 検索結果から位置を選択します。
- 3 **i** > 保存の順に選択します。
- 4 必要に応じて、名前を入力し、完了を選択します。
- 5 保存を選択します。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 保存を選択します。
- 3 名前を入力し、完了を選択します。

保存した位置を編集する

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 **i** を選択します。
- 5 **≡** > 編集を選択します。
- 6 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 名前を選択します。
 - ・ 電話番号を選択します。
 - ・ カテゴリーを保存した位置に割り当てるには、カテゴリーを選択します。
 - ・ 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、地図記号の変更を選択します。
- 7 情報を編集します。
- 8 完了を選択します。

保存した位置にカテゴリーを割り当てる

カスタムカテゴリーを使用して保存した位置を整理できます。

注：位置を 12 件以上保存すると、カテゴリーが [保存した位置] メニューに表示されます。

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3 **i** を選択します。
- 4 **≡** > 編集 > カテゴリーの順に選択します。
- 5 1 つ以上のカテゴリー名を、カンマ区切りで入力します。
- 6 必要に応じて、カテゴリーの候補を選択します。
- 7 完了を選択します。

保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 **≡** > 保存した場所を削除の順に選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、削除を選択します。

ルートに従う

ルート

ルートとは、現在地から1つ以上の目的地までの経路のことです。

- デバイスは、ルート計算モード (ルート探索方法を変更する, 30 ページ) や回避 (遅延、有料道路、およびエリアを回避する, 31 ページ) など設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます (ナビゲーションを開始する, 26 ページ)。
- 使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます (ルートを形成する, 30 ページ)。
- ルートに複数の目的地を追加できます (ルートに場所を追加する, 30 ページ)。

ナビゲーションを開始する

- 1 目的地検索を選択し、場所を検索します (位置の検索と保存を行う, 17 ページ)。
- 2 位置を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、**Go!**を選択します。
 - 代替ルートを指定するには、**Y**を選択し、ルートを選択します。
地図の右側に代替ルートが表示されます。
 - ルートの経路を編集するには、**Y** > ルートの編集を選択し、ルートにシェイピングポイントを追加します (ルートを形成する, 30 ページ)。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します (地図上のルート, 27 ページ)。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます (ルートに場所を追加する, 30 ページ)。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
- 3 必要な場合は、**Q** を選択して、表示されたジャンル別施設をカテゴリ別にフィルタリングします。
注：この機能を利用できない製品モデルもあります。
地図上に位置マーカー (色つきのドット) が表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - 位置マーカーを選択します。
 - ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
- 5 **Go!**を選択します。

帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

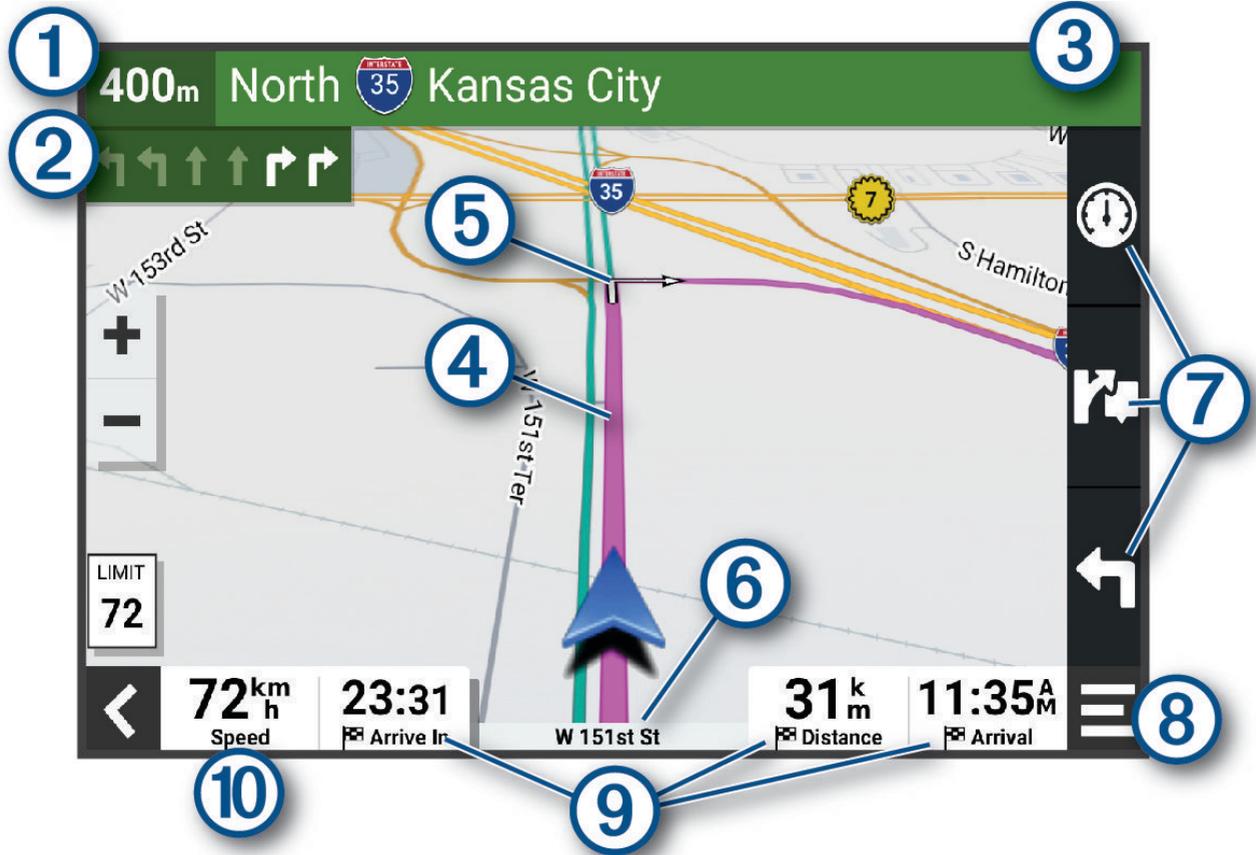
- 1 目的地検索 > 自宅への順に選択します。
- 2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

自宅の場所を編集する

- 1 目的地検索 >  > 自宅登録の順に選択します。
- 2 自宅の場所を入力します。

地図上のルート

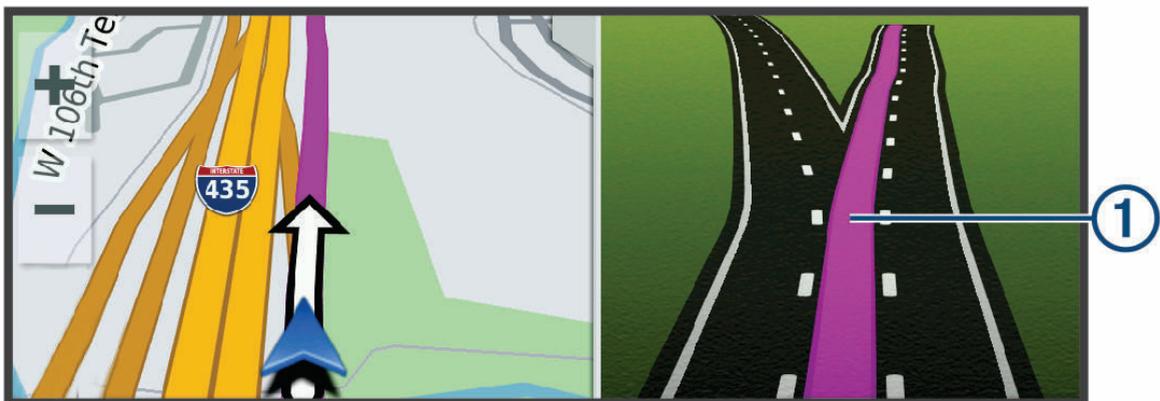
走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



- ① 次のアクションまでの距離。
- ② ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび (利用可能な場合) 走行すべきレーンを示します。
- ③ 次のアクションに関連する通りや出口の名前。
- ④ 地図上に強調表示されたルート。
- ⑤ ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。
- ⑥ 走行中の道路の名前。
- ⑦ 地図ツールのショートカット。
注：この機能を利用できない製品モデルもあります。
- ⑧ 地図ツール。ツールを選択すると、ルートと周辺の詳細情報を表示できます。
- ⑨ データフィールド。
ヒント：これらのフィールドをタッチして表示情報を変更できます (地図データフィールドを変更する, 35 ページ)。
- ⑩ 車速。
ヒント：このフィールドにタッチすると、トリップ情報ページが表示されます (トリップ情報ページを表示する, 34 ページ)。

アクティブ車線案内

ルートで転換地点、出口、またはインターチェンジに近づくとき、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線 ① が方向転換する車線を示します。



方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

1 地図から、オプションを選択します。

- ・ ナビゲーションする際にこの先の方向転換や方向指示を表示するには、 > **方向転換**を選択します。
地図ツールには、地図の横に次の複数の方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。
- ・ ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。

2 方向転換または方向指示を選択します (オプション)。

詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点が画像で表示されます。

地図にルート全体を表示する

1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。

2  を選択します。

目的地に到着する

目的地に近づくと、デバイスはルートの達成に役立つ情報を提供します。

- ・  は地図上の目的地の場所を示し、音声プロンプトが目的地に近づいていることを知らせます。
- ・ 一部の目的地に近づくと、デバイスが自動的に駐車場を提案します。さらに表示を選択すると、推奨駐車場の全リストを表示できます ([目的地の近くの駐車場, 29 ページ](#))。
- ・ 目的地で停車した場合、デバイスはルートを自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しない場合は、 > **停止**の順にを選択してルートを終了できます。

目的地の近くの駐車場

デバイスは、目的地の近くの駐車場所を探すのに役立ちます。一部の目的地に近づくと、デバイスが自動的に駐車場を提案します。

1 次の中からオプションを選択します。

- ・ デバイスが駐車場を提案したら、**さらに表示**を選択して、すべての推奨駐車場を表示します。
注： 任意の推奨駐車場を選択すると、ルートが自動的に更新されます。
- ・ デバイスが駐車場を提案していない場合は、**目的地検索 > カテゴリー > 駐車場の順**に選択し、 > **目的地周辺**を選択します。

2 **駐車場をフィルタリング**を選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の1つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します (オプション)。

注： 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。

3 駐車場を選択し、**Go!**を選択します。

デバイスは、駐車場にガイドします。

アクティブルートを変更する

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ルートをナビゲートしている必要があります ([ナビゲーションを開始する, 26 ページ](#))。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント：複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、ルートプランナーを使用して、ルートの計画、スケジュール、および保存ができます ([ルートを計画する, 42 ページ](#))。

- 1 地図から  **目的地検索**の順に選択します。
- 2 位置を検索します ([位置の検索と保存を行う, 17 ページ](#))。
- 3 位置を選択します。
- 4 **Go!**を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ルートの次の目的地として場所を追加するには、**次の経由地を追加**を選択します。
 - ルートの最後に場所を追加するには、**最後の経由地を追加**を選択します。
 - 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、**アクティブルートに追加**を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります ([ナビゲーションを開始する, 26 ページ](#))。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択することや特定の地域を通過することができます。

- 1 地図上の任意の場所を選択します。
- 2 **ルートを形成する**を選択します。

ヒント：を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。デバイスはルート形成モードになり、ルートを再計算して選択した場所を通過します。
- 3 **Go!**を選択します。
- 4 必要に応じて、オプションを選択します。
 - ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。
 - シェイピングポイントを削除するには、シェイピングポイントを選択し、**消去**を選択します。

迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

- 1 地図で、 **ルートの編集**を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 距離を指定して迂回するには、**距離で迂回**を選択します。
 - ルート上の特定の道路を迂回するには、**道路別迂回路**を選択します。

ルート探索方法を変更する

- 1 **計算モード**を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - **時間優先**を選択すると、一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなる場合があります。
 - **直行**を選択すると、道路状況にかかわらず、ポイント間のルートを計算します。

ルート上の環境ゾーンを回避する

デバイスは、お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域を回避できます。

この機能を使用する前に、環境ゾーン車両プロフィールをデバイスに追加する必要があります(環境ゾーン車両プロフィールの追加, 45 ページ)。

ルート上の環境ゾーンを回避するには、ルートを開始する必要があります。

注：この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

デバイスにメッセージが表示されたら **Go!** を選択して、代替ルートを利用します。

ナビゲーションを停止する

地図で、 > **停止** を選択します。

推奨ルートを利用する

この機能を使用する前に、1 つ以上の場所を保存して、走行履歴機能を有効にする必要があります(ナビゲーション設定, 45 ページ)。

myTrends™ 機能を使用すると、走行履歴、特定の曜日や時刻に基づいてデバイスが目的地を予測します。保存した位置まで数回走行すると、地図上のナビゲーションバーに予定移動時間およびトラフィック情報と共にその位置が表示されます。

位置までのルート候補を表示するには、ナビゲーションバーを選択します。

遅延、有料道路、およびエリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります(スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する, 40 ページ)。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。[トラフィック設定] でこのオプションを無効にしている場合(トラフィック設定, 47 ページ)、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、 > **トラフィック** を選択します。
- 2 代替ルートを選択します(利用可能な場合)。
- 3 **Go!** を選択します。

有料道路を回避する

デバイスは、有料道路、有料橋などの有料区域、または渋滞区域の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区域が含まれる場合があります。

- 1 **設定 > ナビゲーション > 回避 > 通行料金** の順に選択します。
- 2 **保存** を選択します。

道路の回避機能

- 1 **設定 > ナビゲーション > 回避** の順に選択します。
- 2 ルート上で回避したい道路の種類を選択し、**保存** を選択します。

環境ゾーンを回避する

デバイスは、お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域を回避できます。

- 1 **設定 > ナビゲーション > 環境ゾーン** の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 環境ゾーンを通過する前に毎回確認するには、**常に確認** を選択します。
 - 環境ゾーンを常に回避するには、**回避** を選択します。
 - 環境ゾーンを常に許可するには、**許可** を選択します。
- 3 **保存** を選択します。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

道路を回避する

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 必要に応じて、回避の追加を選択します。
- 3 回避道路の追加を選択します。
- 4 回避する道路区域の始点を選択し、次へを選択します。
- 5 道路区域の終点を選択し、次へを選択します。
- 6 完了を選択します。

エリアを回避する

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 必要に応じて、回避の追加を選択します。
- 3 回避エリアの追加を選択します。
- 4 回避するエリアの左上隅を選択し、次へを選択します。
- 5 回避するエリアの右下隅を選択し、次へを選択します。
選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。
- 6 完了を選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 回避を選択します。
- 3  > 無効の順に選択します。

カスタム回避を削除する

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避 > の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - すべてのカスタム回避を削除するには、すべて選択 > 削除の順に選択します。
 - カスタム回避を1件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、削除を選択します。

地図を使用する

地図を使用して、ルートをナビゲートしたり(地図上のルート, 27 ページ)、ルートがアクティブでないときに周囲の地図を表示できます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
 - ズームインまたはズームアウトするには、またはを選択します。
 - ノースアップ表示と3D表示を切り替えるには、を選択します。
 - ルートプランナーを開くには、を選択します(ルートプランナー, 41 ページ)。
 - 表示された関心スポットをカテゴリ別にフィルタリングするには、を選択します。
 - ルートを開始するには、地図上の場所を選択し、Go!を選択します(地図を使用してナビゲーションを開始する, 26 ページ)。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

停止: アクティブルートのナビゲーションを停止します。

ルートの編集: 迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます ([アクティブルートを変更する, 30 ページ](#))。

ピコをミュートにする: デバイスの音声をミュートします。

注: ナビゲーション機能のみがミュートされます。デバイスは、通常の音量で通話、メディア、音声アシスタントの応答を再生します。

次の都市まで: アクティブルートや高速道路沿いの、次の都市およびサービスを表示します ([次の都市まで, 34 ページ](#))。

コースポイント: ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します ([この先, 33 ページ](#))。

トラフィック: ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します ([進行方向の交通事故を表示する, 35 ページ](#))。この機能は、一部の地域やデバイスモデルでは利用できません。

出張データ: 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します ([地図からトリップデータを表示する, 34 ページ](#))。

方向転換: ルートのこの先の方向転換のリストを表示します ([方向転換と方向指示を表示する, 29 ページ](#))。

スマートフォン: 接続されているスマートフォンの最新の通話を表示し、通話中に通話中オプションを表示します ([通話中オプションを使用する, 39 ページ](#))。

天気: エリアの天気状況を表示します。

ミュージックプレイヤー: メディアコントロールとメディア情報を表示します。

スマート通知: 接続しているスマートフォンからの最近のスマート通知を表示します ([スマート通知, 37 ページ](#))。

環境ゾーン: この車両が対象となるこの先の環境ゾーンを表示します ([ルート上の環境ゾーンを回避する, 31 ページ](#))。

地図ツールを表示する

- 1 地図で  を選択します。
- 2 地図ツールを選択します。
地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。
- 3 地図ツールを使い終わったら、 を選択します。

この先

コースポイントツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設をカテゴリーごとに表示できます。カテゴリーをコースポイントツールに表示するようにカスタマイズできます。

この先の場所を表示する

- 1 地図から  > コースポイントを選択します。
走行中、地図ツールは道路またはルートに沿って次の場所を表示します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 地図ツールに複数のカテゴリーが表示されている場合は、1つのカテゴリーを選択すると、そのカテゴリーに関する周辺の場所が一覧で表示されます。
 - 地図ツールに「この先の場所」が表示されている場合は、場所を選択すると、その場所の詳細情報やそこまでのルートが表示されます。

[この先] カテゴリーをカスタマイズする

コースポイントツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

- 1 地図で、 > コースポイントを選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3  を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。
 - ・ カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。
 - ・ カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、**カスタム検索**を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。
- 5 保存を選択します。

次の都市まで

高速道路または高速道路を含むルートの走行中に、この先の都市に関する情報が [次の都市まで] ツールに表示されます。各都市の高速道路出口や出入口サービスまでの距離が、高速道路標識と同様に地図ツールに表示されます。

この先の都市や出入口サービスの表示

- 1 地図で、 > 次の都市までを選択します。

高速道路やアクティブルートの走行中に、この先の都市や出口に関する情報が地図ツールに表示されます。
- 2 都市を選択します。

デバイスに、選択した都市や出口にあるジャンル別施設 (ガソリンスタンド、宿泊施設、レストランなど) が表示されます。
- 3 場所を選んで、**Go!**を選択すると、ナビゲーションが開始されます。

トリップ情報

地図からトリップデータを表示する

地図から、 > 出張データを選択します。

トリップデータフィールドをカスタマイズする

- 1 地図から、 > 出張データを選択します。
- 2 トリップデータフィールドを選択します。
- 3 オプションを選択します。

トリップデータ地図ツールに、新しいトリップデータフィールドが表示されます。

トリップ情報ページを表示する

トリップ情報ページには、速度が表示され、トリップに関する統計情報が表示されます。

地図で、**スピード**を選択します。

軌跡ログを表示する

デバイスでは、軌跡ログ (走行した経路の記録) を保持しています。

- 1 **設定** > **地図の表示** > **地図レイヤー**の順に選択します。
- 2 **走行履歴**チェックボックスをオンにします。

トリップ情報をリセットする

- 1 地図で、**スピード**を選択します。
- 2 必要に応じて、トリップ情報のデータ項目を選択します。
- 3  > **フィールドのリセット**を選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、**すべて選択**を選択します。
 - **全データのリセット**を選択して、トリップ A と合計データをリセットします。
 - 最高速度をリセットするには、**最高速度のリセット**を選択します。
 - オドメーターをリセットするには、**トリップ B のリセット**を選択します。

進行方向の交通事故を表示する

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

この機能を使用するには、デバイスでトラフィックデータ ([トラフィック](#)], 40 ページ)を受信している必要があります。

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。

- 1 ルートのナビゲーションの実行中に、 > **トラフィック**の順に選択します。
地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。
- 2 この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、**アプリ** > **トラフィック**を選択します。
- 2 必要に応じて、 > **凡例**を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、**アプリ** > **トラフィック**を選択します。
- 2  > **事故**を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- 1 **設定** > **地図の表示** > **地図レイヤー**の順に選択します。
- 2 地図上に表示する各レイヤーの横にあるチェックボックスをオンにします。

地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。
注：スピードはカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

地図表示方法を変更する

- 1 設定 > 地図の表示 > 運転地図表示の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ **トラックアップ** を選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
 - ・ **ノースアップ** を選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
 - ・ **3D** を選択すると地図が 3D 表示されます。

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能

⚠ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

Garmin Drive アプリを使用すると、デバイスでスマート通知やライブ情報 (ライブトラフィックデータや天気情報など) を受信することができます。

Garmin 音声認識ナビ: 音声コマンドを使用して、場所と住所の検索、進路方向指示によるルートの開始、ハンズフリー通話の発信などを行うことができます ([音声作動機能, 12 ページ](#))。

Amazon Alexa スキルと機能: Alexa ビルトインを使用すると、音楽の再生、オーディオブックの聴取、ニュースの聴取などが可能で、ハンドルから手を離さず、道路から目を離さずに操作できます ([音声作動機能, 12 ページ](#))。

ライブトラフィックデータ: 交通事故や遅延、工事ゾーン、道路閉鎖などのリアルタイムトラフィックデータをデバイスに送信します ([トラフィック](#)], [40 ページ](#))。

天気情報: リアルタイムで天気予報、道路状況、天気レーダーをお使いのデバイスに送信します ([天気予報を表示する](#), [41 ページ](#))。

ハンズフリー通話: デバイスを使用して電話をかけたり受けたりできるほか、デバイスをハンズフリースピーカーフォンとして使用できます。選択した言語が音声コマンド機能をサポートしている場合は、音声コマンドを使用して電話をかけることができます。

位置情報をデバイスに送信: スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

アプリの通知を表示または非表示にする (Android™)

Garmin Drive アプリを使用して、Garmin DriveSmart デバイスに表示するスマートフォン通知の種類をカスタマイズできます。

- 1 スマートフォンで Garmin Drive アプリを開きます。
- 2  > **通知**の順に選択します。
スマートフォンアプリのカテゴリのリストが表示されます。
- 3 カテゴリを選択して、そのタイプのアプリの通知を有効または無効にします。

通知カテゴリを表示または非表示にする (iPhone®)

カテゴリを表示または非表示にして、デバイスに表示される通知をフィルタリングできます。

- 1 設定 > **ワイヤレスネットワーク**の順に選択します。
- 2 **スマートフォンサービス**を選択します。
ヒント: サービスがアクティブな場合は、 が色付きで表示されます。
- 3 **スマート通知**を選択します。
- 4 表示する各通知の横にあるチェックボックスをオンにします。

スマート通知

デバイスが Garmin Drive アプリに接続されているときは、Garmin DriveSmart デバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定のような通知を表示できます。

注：ナビゲーションデバイスが Garmin Drive アプリに接続した後、ナビゲーションデバイス上で通知を受信するまで数分間待つことが必要な場合があります。スマート通知が接続され、アクティブになると、Bluetooth 設定に  が色付きで表示されます (ワイヤレスネットワーク設定, 46 ページ)。

通知を受信する

警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリ (ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 36 ページ) が実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります。

デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、ほとんどのページからポップアップが表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

注：地図を表示している場合、通知は地図ツールに表示されます。

- 通知を無視するには、**OK** を選択します。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままです。
- 通知を表示するには、**表示** を選択します。
- 通知を聞くには、**表示 > 再生** の順に選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、**表示** を選択してからオプションを選択します。
注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

地図の表示中に通知を受信する

警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリを実行しているサポート対象のスマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります (ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 36 ページ)。

地図を表示しているとき、画面の端にある地図ツールに新しい通知が表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

- 通知を無視するには、**X** を選択するか、ポップアップが終了するのを待ちます。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままです。
- 通知を表示するには、通知テキストを選択します。
- 通知を聞くには、**メッセージを再生** を選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

通知のリストを表示する

すべてのアクティブな通知のリストを表示できます。

1 アプリ > スマート通知の順に選択します。

通知のリストが表示されます。未読の通知は黒で表示され、以前に読まれた通知はグレーで表示されます。

2 次の中からオプションを選択します。

- 通知を表示するには、通知の説明を選択します。
- 通知を聞くには、▶を選択します。

デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話

注：ほとんどの携帯電話とヘッドセットは対応しており使用できますが、特定の携帯電話やヘッドセットの使用は保証できません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを携帯電話に接続し、ハンズフリーデバイスとして使用できます (ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 36 ページ)。接続されている間は、デバイスで電話をかけたり受けたりすることができます。

電話をかける

番号をダイヤルする

1 アプリ > スマートフォン > ダイヤルの順に選択します。

2 番号を入力します。

3 ダイヤルを選択します。

電話帳の連絡先に電話をかける

電話とデバイスが接続されるたびに電話帳が電話からデバイスにロードされます。電話帳が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

1 アプリ > スマートフォン > 電話帳の順に選択します。

2 連絡先を選択します。

3 通話を選択します。

施設に電話をかける

1 アプリ > スマートフォン > カテゴリーを参照の順に選択します。

2 ジャンル別施設を選択します。

3 通話を選択します。

電話を受ける

電話がかかってきたときには、回答または無視を選択します。

通話履歴を使用する

電話とデバイスが接続されるたびに通話履歴が電話からデバイスにロードされます。通話履歴が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

1 アプリ > スマートフォン > 通話履歴の順に選択します。

2 カテゴリーを選択します。

通話の一覧が表示されます。最新の通話が一番上です。

3 通話を選択します。

通話中オプションを使用する

通話中オプションは、電話に出た時に利用できます。一部のオプションはお使いの電話に対応していない可能性があります。

ヒント：通話中オプションのページを閉じた場合、任意の画面からを選択して再度開くことができます。地図から発信者を選択することもできます。

- ・ 会議通話を設定するには、**通話の追加**を選択します。
- ・ オーディオを電話に転送するには、**ナビゲーターで通話中**を選択します。
ヒント：この機能は、Bluetooth の接続を解除して通話を継続する場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。
- ・ ダイヤルパッドを使用するには、**キーパッド**を選択します。
ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。
- ・ マイクをミュートするには、**ミュート**を選択します。
- ・ 電話を切るには**通話終了**を選択します。

自宅の電話番号を保存する

ヒント：自宅の電話番号を保存した後で、この番号を編集するには、保存した位置リストにある「自宅」を編集します（[保存した位置を編集する, 25 ページ](#)）。

- 1 アプリ > スマートフォン >  > **自宅の電話番号の設定**の順に選択します。
- 2 電話番号を入力します。
- 3 完了を選択します。

自宅に電話をかける

自宅に電話をかける前に、自宅の電話番号を入力する必要があります。

アプリ > スマートフォン > **自宅へ電話**の順に選択します。

Bluetooth デバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetooth デバイスを一時的に取り外すことができます。Bluetooth デバイスは、今後も Garmin DriveSmart デバイスに自動的に接続できます。

- 1 **設定 > ワイヤレスネットワーク**の順に選択します。
- 2 接続を解除するデバイスを選択します。
- 3 **接続解除**を選択します。

ペアリングした電話を削除する

ペアリングした電話とのペアリングを解除して、今後自動的にデバイスに接続できないようにできます。

- 1 **設定 > ワイヤレスネットワーク**を選択します。
- 2 電話を選択して、**ペアリングの解除**を選択します。

[トラフィック]

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

お使いのデバイスは、この先の道路やルート上の渋滞に関する情報を提供できます。アクティブルートで大きな交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようにデバイスを設定できます (トラフィック設定, 47 ページ)。交通渋滞地図を使用すると、地域の交通遅延の地図を参照できます。

交通情報を提供するには、デバイスがトラフィックデータを受信している必要があります。

- すべての製品モデルで、Garmin Drive アプリを使用してトラフィックデータを受信できます (サブスクリプション無料) (スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する, 40 ページ)。

トラフィックデータを利用できない地域もあります。トラフィック情報を利用できる地域については、garmin.com/traffic を参照してください。

スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する

デバイスは、Garmin Drive アプリを実行しているスマートフォンに接続されているときに、サブスクリプション無料のトラフィックデータを受信できます。

- 1 デバイスを Garmin Drive アプリ (ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 36 ページ) に接続します。
- 2 Garmin DriveSmart デバイスで、設定 > トラフィックの順に選択し、トラフィックオプションが選択されていることを確認します。

トラフィックを有効にする

トラフィックデータを有効または無効にできます。

- 1 設定 > トラフィックの順に選択します。
- 2 トラフィックチェックボックスをオンにします。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、アプリ > トラフィックを選択します。
- 2 必要に応じて、 > 凡例を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、アプリ > トラフィックを選択します。
- 2  > 事故を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

アプリケーションを使用する

デバイスのマニュアルの表示

デバイス画面では、多くの言語の完全なマニュアルを表示できます。

- 1 アプリ > 操作マニュアルの順に選択します。
マニュアルはソフトウェアの言語と同じ言語で表示されます (言語およびキーボード設定, 47 ページ)。
- 2 [Q] を選択してマニュアルを検索します (オプション)。

天気予報を表示する

注記

Garmin は天気予報データの正確性または適時性について責任を負いません。

この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信する必要があります。デバイスを Garmin Drive アプリに接続して、天気データを受信できます (ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 36 ページ)。

- 1 **アプリ > 天気**の順に選択します。
デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。
- 2 曜日を選択します。
選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

別の都市周辺の天気を表示する

- 1 **アプリ > 天気 > 現在地**の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。
 - お気に入りの都市を追加するには、**都市の追加**を選択し、都市名を入力します。

気象観測レーダーを表示する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリを実行しているサポート対象のスマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります (ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 36 ページ)。

- 1 **アプリ > 気象観測レーダー**の順に選択します。
- 2 を選択して、レーダー地図をアニメーション化します。

気象警報を表示する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります (ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 36 ページ)。

注：この機能を利用できない地域もあります。

デバイスと共に移動中に、気象警報が地図上に表示されることがあります。また、現在地または選択した都市周辺の気象警報の地図を表示することもできます。

- 1 **アプリ > 天気**を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3  > **気象警報**の順に選択します。

道路状況を確認する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります (ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 36 ページ)。

自分の地域、自分のルート、または別の都市の道路の天候に関連する道路状況を表示できます。

- 1 **アプリ > 天気**を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3  > **道路状況**を選択します。

ルートプランナー

ルートプランナーを使用すると、ルートを作成して保存し、後でナビゲートできます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したルートを編集すると、場所の並べ替え、おすすめアトラクションの追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。

ルートプランナーを使用すると、アクティブルートを編集して保存することもできます。

ルートを計画する

ルートには多くの場所を含めることができますが、少なくとも出発地と目的地を含める必要があります。出発地とは、ルートを開始する予定の場所です。別の場所からルートのナビゲーションを開始すると、デバイスには最初に出発地にルートを設定するオプションが表示されます。往復する場合は、出発地と最終目的地を同じにすることができます。

- 1 アプリ > ルートプランナー > ルートを作成の順に選択します。
- 2 必要に応じて、計算モードを選択します。
注：デフォルトでは、時間優先モードが選択されています。
- 3 出発点の場所を選択するオプションを選択します。
 - ・ 地図上で位置を選択します。
 - ・ **Q** を選択し、場所を検索します (検索バーを使用して位置を検索する, 18 ページ)。
- 4 さらに場所を追加する場合は、手順 2 を繰り返します。
注：最後に追加する場所が目的地になります。
- 5 必要な場所をすべて追加したら、**■** を選択します。

ルートの場所を編集および並べ替える

- 1 アプリ > ルートプランナーの順に選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3 リストを選択します。
- 4 位置を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 場所を上下に移動するには、**↑↓** を選択し、場所をルートの新しい位置にドラッグします。
 - ・ 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、**+** を選択します。
 - ・ 場所を削除するには、**X** を選択します。

ルートのルートオプションを変更する

デバイスでルートが計算される方法をカスタマイズできます。

- 1 アプリ > ルートプランナーの順に選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3 **✏** を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ルートにシェイピングポイントを追加するには、**形成する** を選択し、1 カ所以上の場所を選択します。
 - ・ ルートの計算モードを変更するには、ルートセグメントにタッチして計算モードを選択します。

保存したルートまでナビゲーションする

- 1 アプリ > ルートプランナーの順に選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3 **Go!** を選択します。
- 4 ナビゲーション先の最初の位置を選択し、**OK** を選択します。
- 5 **開始** を選択します。
デバイスは現在地から選択した位置へのルートを計算し、残りのルート目的地に順番に案内します。

アクティブルートを編集および保存する

ルートがアクティブな場合は、ルートプランナーを使用し、ルートを編集して保存できます。

- 1 アプリ > ルートプランナー > **マイアクティブ** ルートの順に選択します。
- 2 いずれかのルートプランナー機能を使用して、ルートを編集します。
ルートは変更を加えるごとに再計算されます。
- 3 **保存**を選択すると、ルートが保存され、後で再びナビゲーションできます (オプション)。

ワイヤレスカメラ

接続された 1 台以上のワイヤレスカメラ (別売) からのビデオフィードを表示できます。

デバイスをワイヤレスカメラにペアリングする

ワイヤレスカメラを Garmin DriveSmart デバイスとペアリングできます。

- 1 Garmin DriveSmart デバイスを最新のソフトウェアバージョンに更新します ([地図やソフトウェアの更新, 49 ページ](#))。

最新のソフトウェアがでない場合、デバイスがワイヤレスカメラに対応しない場合があります。

- 2 **設定 > ワイヤレスカメラ > 新しいカメラの追加**の順に選択します。
- 3 画面の指示に従って、カメラのペアリングと設定を完了します。

カメラとのペアリングプロセスを初めて完了した後、電源を入れると、Garmin ナビゲーションデバイスに自動的に接続されます。

ワイヤレスカメラの表示

⚠ 警告

このデバイスの目的は、適切な使用時に、状況を認識する能力を高めることです。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。注意散漫にならないように、車両が動いているときはディスプレイを注視しないでください。

ホーム画面または地図から  を選択します。

ガイドンスラインの位置合わせ

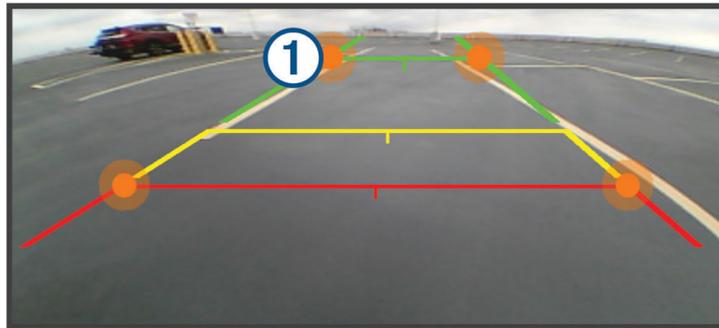
最良の基準点を得るには、車両の外端が反映されるようにガイドンスラインを合わせる必要があります。バックアップカメラごとに、ガイドンスラインを個別に合わせる必要があります。一部のモデルでは、カメラをペアリングした後に自動的に調整が可能になります。

⚠ 警告

デバイスを使用する前、およびカメラの角度を調整した後は、ガイドンスラインが適切に位置合わせされていることを確認する必要があります。ガイドンスラインの位置を適切に合わせないと、事故や衝突が発生し、死亡、重傷、物的損害につながるおそれがあります。

- 1 車両の片側を縁石、私道、または駐車場区画線の近くに車両を配置してください。
駐車場区画の中央に車両を配置し、次の区画まで寄せることができます。これにより、車両後部の駐車場区画線を位置合わせの基準点として使用できます。
縁石、私道、または駐車場区画線がデバイス上ではっきりと見えるようにします。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - カメラビューで、画面をタップして、 を選択します。
 - カメラビューから、 > **ビデオを調整する**の順に選択します。

- 3 ガイダンスライン①の隅にある円をドラッグするか、縁石、私道、駐車場区画線の角度と位置が一致するまで矢印をタップします。
ガイダンスラインは、基準点の上に直接表示されます。
ガイダンスラインの赤色またはオレンジ色の部分が車両の後部に揃うようにします。



- 4 必要に応じて、反対側を縁石、私道、または駐車場区画線に近づけて車両の位置を調整し、位置合わせプロセスを繰り返します。
車両が縁石、私道、または駐車場区画線と完全に一致していない場合でも、ガイダンスラインを対称に保つようによろしくしてください。
- 5 位置合わせが完了したら、✓を選択します。

前のルートと目的地を表示する

この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります (デバイスおよびプライバシー設定, 48 ページ)。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。

アプリ > トリップの履歴 の順に選択します。

設定

地図および車両設定

設定 > 地図の表示の順に選択します。

地図車両アイコン: 地図上で自分の位置を示す車両アイコンを設定します。

運転地図表示: 地図の表示方法を設定します。

詳細度: 地図の詳細度を設定します。詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

地図テーマ: 地図データの色を変更します。

地図レイヤー: 地図ページに表示するデータを設定します (地図レイヤーをカスタマイズする, 35 ページ)。

自動ズーム: 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

マイマップ: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント: 追加の地図製品を購入するには、buy.garmin.com にアクセスしてください。

- 1 設定 > 地図の表示 > マイマップの順に選択します。
- 2 地図を選択します。

ナビゲーション設定

設定 > ナビゲーションの順に選択します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

環境ゾーン: お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域に回避の環境設定を行います。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

GPSシミュレーター: デバイスによるGPS信号の受信を停止し、バッテリーを節約します。

計算モードの設定

設定 > ナビゲーション > 計算モードの順に選択します。

ルート計算モードは、道路の速度データや所定ルートでの車両加速度データに基づいています。

時間優先: 一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。

直行: 現在地から目的地までの直線距離を計算します。

シミュレートされた場所を設定する

屋内にいる場合、または衛星信号を受信していない場合、GPSシミュレーターを使用してシミュレートした場所からルートを計画することができます。

- 1 設定 > ナビゲーション > GPSシミュレーターを選択します。
- 2 メインメニューで、地図表示を選択します。
- 3 地図を2回タップして、エリアを選択します。
この位置の住所が画面の下部に表示されます。
- 4 位置の説明を選択します。
- 5 現在地変更を選択します。

環境ゾーン車両プロフィールの追加

燃料タイプや排出ガス基準など、この車両専用の環境ゾーン設定の車両プロフィールを追加できます。

注: この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

- 1 設定 > ナビゲーション > 環境ゾーンの順に選択します。
- 2 画面に表示される手順に従います。

ワイヤレスネットワーク設定

ワイヤレスネットワーク設定では、Wi-Fi®ネットワーク、ペアリングされている Bluetooth デバイス、および Bluetooth 機能を管理できます。

設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。

Bluetooth: Bluetooth 無線技術を有効にします。

ペアリングされているデバイスの名前: ペアリングされている Bluetooth デバイスの名前はメニューに表示されます。デバイスの名前を選択して、そのデバイスの Bluetooth 機能の設定を変更できます。

デバイスの検索: 周辺にある Bluetooth 搭載デバイスを検索します。

表示名: Bluetooth 無線技術で、デバイスの識別に使用されるわかりやすい名前を入力します。

Wi-Fi: Wi-Fi テクノロジーを有効にします。

保存済みネットワーク: 保存済みネットワークを編集または削除できます。

ネットワークを検索: 近くの Wi-Fi ネットワークを検索します ([Wi-Fi ネットワークへの接続, 50 ページ](#))。

運転者支援の設定

設定 > 安全運転支援の順に選択します。

ドライバーアラート: この先のゾーンや道路状況に関するアラートの有効 / 無効を切り替えることができます ([ドライバーへの注意喚起の機能とアラート, 16 ページ](#))。

スピード超過アラート: 制限速度を超えている場合には、警告を發します。

速度低下トーン: 制限速度が低下すると警告します。

ルートのプレビュー: ナビゲーションを開始すると、ルートの幹線道路のプレビューを表示します。

休憩プラン: 長時間運転の際に、休憩をとるよう通知し、この先のサービスエリアを表示します。休憩の通知とこの先のサービスエリアの表示は、有効 / 無効を切り替えることができます。

スピードカメラ: スピードカメラや赤信号カメラに近づいたときに警告します。

近接アラート設定

注：近接ポイントアラートを表示するには、カスタム POI (主要ポイント) がロードされている必要があります。

注：この機能を利用できない地域もあります。

設定 > 安全運転支援 > スピードカメラの順に選択します。

オーディオ: 近接ポイントに近づいた時に鳴るアラートのスタイルを設定します。

アラート: アラートが鳴る近接ポイントの種類を設定します。

バックアップカメラ設定

バックアップカメラ設定で、ペアリングされた Garmin バックアップカメラの管理と設定を行えます。このメニューは、ナビゲーションデバイスがワイヤレスカメラのレシーバーケーブルに接続されている場合にのみ、そのデバイスに表示されます。garmin.com/babycam にアクセスして、Garmin バックアップカメラを購入します。

設定 > バックアップカメラの順に選択し、ペアリングされたカメラを選択します。

ペアリングの解除: ペアリングされているカメラを削除します。表示する前にデバイスとケーブルを使用して再度カメラをペアリングする必要があります。

名前を変更: ペアリングされているカメラの名前を変更できます。

ガイダンスライン: ガイダンスラインを表示または非表示にしたり、ガイダンスラインの位置を調整できます。

ディスプレイ設定

設定 > ディスプレイの順に選択します。

方向: ディスプレイをポートレート (縦) またはランドスケープ (横) に設定します。

注: この機能を利用できない製品モデルもあります。

デザイン: 昼または夜のカラーモードを選択できます。自動オプションを選択すると、時刻により昼または夜のカラーが自動的に切り替わります。

輝度: ディスプレイの輝度を調節できます。

ディスプレイ省電力モード: バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定できます。

スクリーンショット: デバイス画面の画像を撮影できます。スクリーンショットは、デバイスの Screenshot フォルダに保存されます。

トラフィック設定

メインメニューで、設定 > トラフィックの順に選択します。

トラフィック: トラフィック機能を有効にします。

現在のプロバイダ: トラフィックデータに使用するトラフィックプロバイダを設定します。自動オプションでは、利用可能な最適なトラフィックデータが自動的に選択されます。

サブスクリプション: 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

最適なルート: 最適な代替ルートを自動的に、または要求に応じて使用できるようにします (ルート上の交通遅延を回避する, 31 ページ)。

単位および時間設定

単位および時間設定ページを開くには、メインメニューで、設定 > 単位 / 時間の順に選択します。

現在の時刻: デバイスの時間を設定します。

時刻表示形式: 表示時間に 12 時間、24 時間、または UTC を選択できます。

単位: 距離の測定に使用する単位を設定します。

位置フォーマット: 地理座標に使用する座標形式とデータを設定します。

時間を設定する

1 メインメニューから時間を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- GPS 情報を使用して自動的に時間を設定するには、自動を選択します。
- 時間を手動で設定するには、数字を上下にドラッグします。

言語およびキーボード設定

[言語およびキーボード設定] を開くには、メインメニューから設定 > 言語 / キーボードを選択します。

音声言語: 音声案内の言語を変更します。

テキスト言語: 画面上のすべてのテキストを選択した言語に設定します。

注: テキスト言語を変更しても、ユーザー入力データまたは通り名などの地図データの言語は変更されません。

キーボード言語: キーボード言語を有効にします。

デバイスおよびプライバシー設定

設定 > デバイスの順に選択します。

バージョン情報: ソフトウェアバージョン番号、ユニット ID 番号、その他の複数のソフトウェア機能についての情報を表示します。

規制情報: 規制のマーキングおよび情報を表示します。

EULA: エンドユーザー使用許諾契約を表示します。

注: システムソフトウェアの更新または追加地図データの購入時に、この情報が必要となります。

ソフトウェアライセンス: ソフトウェアライセンス情報を表示します。

デバイスデータの報告: デバイスの機能を向上するために匿名データを共有します。

走行履歴: 目的地の記録をデバイスに保存できます。これにより、軌跡ログを表示したり、走行履歴機能を使用したり、myTrends 推奨ルートを使用したりできます。

リセット: 走行履歴の消去、設定のリセット、またはすべてのユーザーデータの削除を実行できます。

データと設定をリセットする

ユーザーデータを削除して、すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、複数の方法があります。

1 設定 > デバイス > リセットを選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 走行履歴を消去するには、**走行履歴の消去**を選択します。
このオプションを選択すると、これまでに走行した場所の全記録が削除されます。保存した位置情報やインストール済みの地図は削除されません。
- すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、**設定リセット**を選択します。
このオプションを選択してもユーザーデータは削除されません。
- すべてのユーザーデータを削除して、すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、**データ削除と設定リセット**を選択します。
このオプションを選択すると、保存した位置情報、最近検索した場所、走行履歴など、すべてのユーザーデータが削除されます。インストール済みの地図は削除されません。

デバイス情報

E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示

1 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。

2 デバイス > 規制情報を選択します。

仕様

動作温度範囲	-20°C ~ 55°C (-4°F ~ 131°F)
充電温度範囲	0°C ~ 45°C (-32°F ~ 113°F)
無線周波数(Garmin DriveSmart 66)	2.4 GHz @ 17 dBm 最大 5.1 GHz @ 16.5 dBm 最大 5.2 GHz @ 16.5 dBm 最大
無線周波数(Garmin DriveSmart 76)	2.4 GHz @ 16 dBm 最大 5.1 GHz @ 17 dBm 最大 5.2 GHz @ 17 dBm 最大
無線周波数(Garmin DriveSmart 86)	2.4 GHz @ 18.1 dBm 最大 5.1 GHz @ 16.2 dBm 最大 5.2 GHz @ 16.4 dBm 最大
電源入力	付属の車両用電源ケーブルを使用した電源供給別売アクセサリを使用して AC 電源から電源供給 (家庭やオフィスでの使用時限定)
バッテリータイプ	充電式リチウムイオン

デバイスを充電する

注：このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。

以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- デバイスを車両電源に接続します。
- コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。
家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの Garmin AC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

デバイスのメンテナンス

Garmin サポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問 (FAQ)、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。

地図やソフトウェアの更新

最適なナビゲーションエクスペリエンスを得るには、デバイスの地図とソフトウェアを最新の状態に維持する必要があります。

地図の更新では、デバイスで使用している地図の道路や場所に関する利用可能な最新の変更が取得できます。地図を最新の状態に保つと、デバイスで最近追加された場所を見つけて、より正確なルートを計算することができます。地図の更新は大きいため、完了に数時間かかる可能性があります。

ソフトウェア更新では、デバイスの機能と操作の変更と改善が取得できます。ソフトウェア更新は小さく、数分間で完了します。

2つの方法を使用してデバイスを更新できます。

- デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続し、デバイス上で直接更新できます (推奨)。このオプションでは、デバイスをコンピュータに接続しないでタイミングよく更新できます。
- デバイスをコンピュータに接続し、Garmin Express アプリケーションを使用して更新できます (garmin.com/express)。

Wi-Fi ネットワークへの接続

デバイスの電源を初めてオンにすると、Wi-Fi ネットワークに接続してデバイスを登録するように求められます。設定メニューを使用して、Wi-Fi ネットワークに接続することもできます。

- 1 **設定 > ワイヤレスネットワーク**の順に選択します。
- 2 必要に応じて、**Wi-Fi** を選択して Wi-Fi 技術を有効にします。
- 3 **ネットワークを検索**を選択します。
デバイスで、近くの Wi-Fi ネットワークのリストが表示されます。
- 4 ネットワークを選択します。
- 5 必要に応じて、ネットワークのパスワードを入力し、完了を選択します。

デバイスがネットワークに接続し、ネットワークが保存済みネットワークのリストに追加されます。デバイスは、範囲内にあるときにこのネットワークに自動的に再接続します。

Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新

注記

地図やソフトウェアの更新では、デバイスで大きなファイルをダウンロードする必要がある場合があります。通常のデータ制限や料金がインターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスが接続することで、地図やソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。

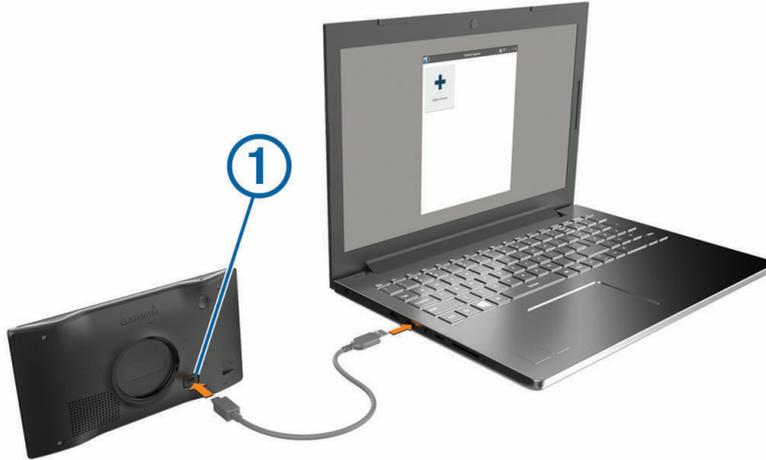
- 1 デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します ([Wi-Fi ネットワークへの接続, 50 ページ](#))。
Wi-Fi ネットワークに接続中に、デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新を利用できる場合、メインメニューの設定アイコンに  が表示されます。
- 2 **設定 > 更新** を選択します。
デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新が利用可能な場合は、**更新が利用可能ですが** 地図またはソフトウェアの下に表示されます。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**を選択します。
 - 地図の更新のみをインストールするには、**地図 > すべてインストール**の順に選択します。
 - ソフトウェアの更新のみをインストールするには、**ソフトウェア > すべてインストール**の順に選択します。
- 4 使用許諾契約を読み、**同意**を選択して使用許諾契約に同意します。
注： 使用許諾契約に同意しない場合、拒否を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。
- 5 付属の USB ケーブルを使用し、デバイスを外部電源に接続して、**継続**を選択します ([デバイスを充電する, 49 ページ](#))。
最良の結果を得るには、パワー出力が 1 A 以上の USB 充電器をお勧めします。スマートフォン、タブレット、またはポータブルメディアデバイス用の多くの USB 電源アダプタと互換性があります。
- 6 更新処理が完了するまで、デバイスを外部電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。

ヒント： 地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルされたりした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、Wi-Fi または Garmin Express を使用して地図をもう一度更新する必要があります。

Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェア更新をダウンロードしてインストールできます。

- 1 コンピュータに Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、garmin.com/express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします (Garmin Express をインストールする, 52 ページ)。
- 2  Garmin Express アプリケーションを開きます。
- 3 USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。
ケーブルの小さい方の端は Garmin DriveSmart デバイスの USB ポート ① に接続し、大きい方の端はコンピュータで利用できる USB ポートに接続します。



- 4 Garmin DriveSmart デバイスで **タップしてコンピュータに接続します** を選択します。
- 5 Garmin DriveSmart デバイスでファイル転送モードに切り替えるか確認されたら、**継続** を選択します。
- 6 Garmin Express アプリケーションで、**デバイスの追加** をクリックします。
Garmin Express アプリケーションはデバイスを検索し、デバイス名とシリアル番号を表示します。
- 7 **デバイスの追加** をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express アプリケーションに追加します。
セットアップが完了すると、Garmin Express アプリケーションにデバイスで利用できる更新が表示されま

更新を利用できます

前回の確認：たった今 

推定インストール時間：1時間-18分

[詳細の表示](#)

[すべてインストール](#)

8 次の中からオプションを選択します。

- ・ 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**をクリックします。
- ・ 特定の更新をインストールするには、**詳細の表示**をクリックし、必要な更新の横にある**インストール**をクリックします。

Garmin Express アプリケーションがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。

注： 地図の更新がデバイスの内部ストレージに対して大きすぎる場合は、ソフトウェアで、microSD®デバイスにカードを挿入してストレージ領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります ([地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する](#), 56 ページ)。

9 更新処理中は画面上の指示に従って、更新のインストールを完了します。

たとえば、更新処理中、Garmin Express アプリケーションからデバイスを切断して再接続するように指示される場合があります。

Garmin Express をインストールする

Garmin Express アプリケーションは Windows® および Mac® コンピュータで利用できます。

1 コンピュータから garmin.com/express にアクセスします。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ システム要件を表示し、Garmin Express アプリケーションがコンピュータと互換性があることを確認するには、**システム要件**を選択します。
- ・ Windows コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Windows)**を選択します。
- ・ Mac コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Mac)**を選択します。

3 ダウンロードファイルを開き、画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

デバイスを水に濡らさないでください。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

- 1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース (タッチスクリーン以外) を拭きます。
- 2 デバイスの湿気を拭き取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

- 1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。
- 2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。
- 3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。
- 4 力を入れずに画面を布で拭きます。

USB ポートの清掃

- 1 デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から取り外します。
- 2 柔らかい清潔な糸くずの出ない布または綿棒を使用して、USB ポートを清掃します。
注： 必要に応じて、布や綿棒をイソプロピルアルコールで軽く湿らせてもかまいません。
- 3 デバイスを完全に乾かしてから、電源に接続してください。

盗難防止

- 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見えるところから取り外してください。
- 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。
- ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかないでください。

デバイスを再起動する

デバイスが動作を停止した場合には、再起動できます。

電源キーを 12 秒間押し続けます。

デバイス、マウント、吸着カップを取り外す

マウントからデバイスを取り外す

- 1 マウントのつまみまたはボタンを押してすぐに離します。
- 2 デバイスの下面を上に向けて、デバイスをマウントから持ち上げます。

吸盤からマウントを取り外す

- 1 必要に応じて、マウントを吸盤ボールに固定しているナットを緩めます。
- 2 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 3 マウントのソケットから吸盤のボールが外れるまで力をかけます。

フロントガラスから吸着カップを取り外す

- 1 吸着カップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着カップのつまみを自分の方に引きます。

トラブルシューティング

デバイスから音が聞こえない

Garmin DriveSmart デバイスとアプリには、さまざまな車両や設置方法に対応するためにオーディオ出力オプションがいくつか用意されています。デバイスから音声が聞こえない場合は、以下の設置方法でデバイスの設定と接続を確認してください。

- すべての設置方法について、次の各項目を確認します。
 - Garmin DriveSmart デバイスがスマートフォンとペアリングされ、Garmin Drive アプリに接続されていることを確認します (スマートフォンとペアリングする, 5 ページ)。
 - Garmin DriveSmart デバイスの音量が十分な大きさであることを確認します。
OK, Garmin, increase the volume. と発声できます。
 - スマートフォンのメディア音量設定がミュートになっていないことを確認します。
- Bluetooth 接続を使用して車両または車両のステレオに接続する場合は、次の各項目を確認します。
 - Garmin DriveSmart デバイスで、**音量 > Bluetoothオーディオセットアップ** の順に選択し、Bluetooth 接続を使用してステレオに送信するオーディオタイプごとに**車両**が選択されていることを確認します。
 - スマートフォンが車両とペアリングされ、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使用して接続されていることを確認します。
スマートフォンと車両のペアリングの詳細については、車両の操作マニュアルを参照してください。
 - 車両のステレオが Bluetooth オーディオソースに設定されていることを確認します。
- Garmin DriveSmart AUX オーディオ出力を使用して車両のステレオに接続する場合は、次の各項目を確認します。
 - 3.5 mm オーディオケーブルが、Garmin DriveSmart 車両の電源アダプターにあるオーディオ出力ジャックと車載ステレオの AUX 入力ジャックに接続されていることを確認します (AUX ケーブルを使用してステレオに接続する, 8 ページ)。
注：スマートフォンのヘッドフォンジャックを補助出力に使用しないでください。一部のオーディオタイプは、スマートフォンのヘッドフォンジャックを使用して再生できません。
 - デバイスの電源ケーブルが、車両の電源アダプターの青いポートに接続されていることを確認します。
 - Garmin DriveSmart デバイスで、**音量 > Bluetoothオーディオセットアップ** の順に選択し、各オーディオタイプに**Garmin デバイス**が選択されていることを確認します。
 - 車載ステレオが AUX 入力オーディオソースに設定されていることを確認します。
- 内蔵 Garmin DriveSmart デバイススピーカーを使用する場合は、次の各項目を確認します。
 - Garmin DriveSmart デバイスで、**音量 > Bluetoothオーディオセットアップ** の順に選択し、各オーディオタイプに**Garmin デバイス**が選択されていることを確認します。
 - Garmin DriveSmart 車両の電源アダプターにあるオーディオ出力ジャックに、ケーブルが接続されていないことを確認します。

デバイスの画面の輝度を調整できない

Garmin DriveSmart デバイスに十分な電力が供給されていない場合は、画面が最大輝度で表示されません。

- 車両の電源がオンになっており、電源コンセントに電力が供給されていることを確認します。
- Garmin DriveSmart デバイスが付属の車両電源ケーブルと付属の車両電源アダプタで車両の電源に接続されていることを確認します (取り付けに関する注意事項, 2 ページ)。

Garmin DriveSmart デバイスはいつ聞き取っているのか？

Garmin DriveSmart デバイスの電源がオンでマイクがミュートになっていない場合、ユーザーが *OK, Garmin* または *Alexa* と発声してリクエストを開始するのをデバイスは継続的に聞き取っています。デバイス自体は音声データを記録したり保存しません。音声リクエストを開始すると、リクエストの音声データが Garmin Drive アプリや AmazonAlexa アプリに送信されて処理されます。処理された *Alexa* リクエストの記録は AmazonAlexa アプリで表示できます。

デバイスが音声を聞き取らないようにするには、音声キーを 2 秒間押し続けてマイクをミュートにします ([マイクをミュートにする, 16 ページ](#))。

使用したいスキルがない

Garmin DriveSmart デバイスは、多くの *Alexa* のスキルと機能に対応しています。ただし、一部のスキルや機能は特定のデバイス専用であり、Garmin DriveSmart デバイスでは使用できません。スキルの互換性は、スキル開発者と Amazon によって決定されます。

使用したいスキルがない場合は、スキル開発者に連絡して、Garmin DriveSmart デバイスのサポート追加を提案できます。

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 2 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 3 吸盤を取り付けます ([取り付けに関する注意事項, 2 ページ](#))。

デバイスで衛星信号を受信できない

- GPS シミュレーターの電源がオフになっていることを確認します ([ナビゲーション設定, 45 ページ](#))。
- 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離れた場所へ移動してください。
- 数分間静止したままにします。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- 画面の輝度を下げます ([ディスプレイ設定, 47 ページ](#))。
- ディスプレイのタイムアウトを短くします ([ディスプレイ設定, 47 ページ](#))。
- 音量を下げます ([音量を調整する, 10 ページ](#))。
- 使用しないときは、Wi-Fi 無線をオフにします ([ワイヤレスネットワーク設定, 46 ページ](#))。
- 使用しないときは、デバイスを省電力モードにします ([デバイスの電源をオンまたはオフにする, 9 ページ](#))。
- デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

デバイスがスマートフォンに接続されません

- **設定 > ワイヤレスネットワーク**の順に選択します。
[Bluetooth] オプションを有効にする必要があります。
- スマートフォンで Bluetooth 無線の設定を有効にし、デバイスから 10m (33 ft.) 以内の範囲に電話を持てきます。
- お使いのスマートフォンが対応していることを確認します。
詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。
- ペアリングプロセスを再度完了します。
ペアリングプロセスを繰り返すには、スマートフォンとデバイスのペアリングを解除して ([ペアリングした電話を削除する, 39 ページ](#))、ペアリングプロセスを完了する必要があります ([ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 36 ページ](#))。

付録

地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する

メモリーカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリーカードは家電販売店で購入できます。このデバイスは、4~256 GB の microSD メモリーカードに対応しています。メモリーカードは FAT32 ファイルシステムフォーマットを使用している必要があります。32 GB を超えるメモリーカードは、デバイスを使用してフォーマットする必要があります。

- 1 デバイスの地図およびデータメモリーカードスロットの場所を確認します (デバイスの概要, 1 ページ)。
- 2 メモリカードをスロットに挿入します。
- 3 カチッと音がするまで押し込んでください。

データ管理

デバイスには、データストレージを追加できるメモリーカードスロットがあります。

注：このデバイスは Windows 7 以降、および Mac OS 10.7 以降に対応しています。

メモリーカードについて

家電販売店からメモリーカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア (www.garmin.com) を購入できます。メモリーカードを使用すると、地図やカスタム POI などのファイルを保存できます。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。
- 3 Garmin DriveSmart デバイスで **タップしてコンピュータに接続します** を選択します。
- 4 Garmin DriveSmart デバイスでファイル転送モードに切り替えるか確認されたら、**継続** を選択します。

コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスをコンピュータに接続する](#), 56 ページ)。
コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。
- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 [**編集**] > [**コピー**] の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。
注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。
- 6 [**編集**] > [**貼り付け**] の順に選択します。

USB ケーブルを取り外す

デバイスがリムーバブルドライブまたはボリュームとしてコンピュータに接続されている場合、データの損失を避けるため、デバイスをコンピュータから安全に取り外す必要があります。デバイスがポータブルデバイスとして Windows コンピュータに接続されている場合は、そのデバイスを安全に取り外す必要はありません。

1 次の手順を実行します。

- Windows コンピュータの場合、システムトレイの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコンを選択し、デバイスを選択します。
- Apple コンピュータでデバイスを選択し、[ファイル] > [取り出す] を選択します。

2 コンピュータからケーブルを取り外します。

GPS 信号ステータスを表示する

 を 3 秒間押し続けます。

追加の地図を購入する

- 1 garmin.com のデバイス製品ページにアクセスします。
- 2 地図タブをクリックします。
- 3 画面に表示される手順に従います。

アクセサリーを購入する

- オプションのアクセサリーは、garmin.com または Garmin 販売店から入手できます。

欧州排出ガス基準

欧州排出ガス基準は、欧州で販売される新車から放出される大気汚染物質の量を制限する排出ガス基準です。車両の排出ガス基準は、車両の操作マニュアル、車両登録文書、または車両のドアフレームの印刷で確認できます。車両の排出ガス基準が見つからない場合は、車両のディーラーもしくはメーカーに詳細をお問い合わせください。

